

マイクロ波レベル計  
調整用ソフトウェア  
DTM / PACTware  
インストール説明書

形式：MWLM-PR26-HART-DTM

※ この取扱説明書は操作する人がよく読み、正しい取扱いを行って下さい。

## 株式会社 マツシマ メジヤテック

九州営業所 福岡県北九州市八幡西区則松東一丁目8番18号  
〒807-0837 TEL(093)691-3731 FAX(093)691-3735  
<https://www.matsushima-m-tech.com>

東京営業所 千葉県船橋市本町3-36-28 ホームスト船橋ビル3F  
〒273-0005 TEL(047)424-9901 FAX(047)424-9905

大阪営業所 大阪市都島区片町2-2-40 大発ビル4F  
〒534-0025 TEL(06)6352-8011 FAX(06)6352-8012

名古屋営業所 名古屋市熱田区外土居町9-14 トキワ外土居ビル5F  
〒456-0013 TEL(052)679-6301 FAX(052)679-6305

# 目次

安全にご使用頂く為に	2
1. ソフトウェア使用条件	3
1-1. ソフトウェア使用許諾契約	3
1-2. データの保護	3
1-3. リバースエンジニアリング等の禁止	3
2. 概要	4
3. インストール	5
3-1. インストール前の確認	5
3-1-1. 管理者 (Administrator) 権限の確認	5
3-1-2. インストール手順の確認	5
(1) 新規にインストールする場合	5
(2) PACTware と Matsushima DTM をバージョンアップする場合	5
(3) Matsushima DTM のみバージョンアップする場合	6
3-1-3. Microsoft .NET Framework の確認	6
3-2. PACTware パッケージのインストール	9
(1) PACTware のインストール	9
(2) Generic HART DTM のインストール	12
(3) HART Communication DTM のインストール	13
(4) Matsushima DTM のインストール	15
3-3. Matsushima DTM のインストール	18
3-4. HART モデムドライバのインストール	21
3-4-1. MHM-01 の場合	21
3-4-2. MHM-02 の場合	25
4. 自動起動設定	26
4-1. PACTware の起動	26
4-2. デバイスカタログの確認	27
(1) デバイスカタログの確認	27
(2) Matsushima DTM のバージョン確認	28
(3) Microsoft MSXML のインストール	29
4-3. Project の作成	31
(1) 通信 DTM の設定	31
(2) Device DTM の設定	33
(3) Options の設定	35
(4) Project の保存	36
4-4. プログラムの終了	37
5. 言語設定の変更	38
6. 起動ファイル名の変更	40
7. アンインストール	41
7-1. PACTware のアンインストール	41
7-2. Generic HART DTM のアンインストール	42
7-3. HART Communication DTM のアンインストール	43
7-4. Matsushima DTM のアンインストール	44
7-5. HART モデムドライバのアンインストール	45
7-5-1. MHM-01 の場合	45
7-5-2. MHM-02 の場合	46

## 安全にご使用頂く為に

- ・取扱説明書は、本製品のご使用前に必ずお読みください。
- ・取扱説明書は、いつでもご覧頂けます様取り出しやすい場所に保管してください。
- ・本取扱説明書に記した内容は、予告なしに変更する事があります。
- ・部品交換について  
品質向上のため、製品改良は頻繁に行われます。従って、同一の部品を提供出来ない場合があります。  
この場合、代替の部品または製品を提供させて頂くこともあります。



### 警告 (指示を守らないと死亡または重傷を負う可能性を示します。)

- ・取付の際には、周辺装置が動かない状態を確認して行ってください。  
また、高所作業が予想される場合は、安全事項を厳守されて取付を行ってください。
- ・配線・配置・運搬を実施する際には、必ず操作電源を遮断した後に行ってください。  
「感電やけがの恐れ及び短絡などによる製品の破損の原因となります。」
- ・配線は配線作業ができる図面等を確認の上、正しく行ってください。
- ・製品の分解は、絶対にしないでください。  
「感電の恐れがあります。」
- ・爆発性雰囲気では、通電中にカバーを開けないでください。  
「けがの恐れ及び製品の破損の原因となります。」
- ・保管する上で直接日光が当たる場所、雨や水滴のかかる場所、有害なガスや液体のある場所等の悪環境下での保管はしないでください。



### 注意 (指示を守らないと軽傷または中程度の傷害を負う可能性を示します。)

または、物的損害のみを負う可能性も示します。)

- ・本来の使用目的から外れた使用はしないでください。
- ・必ず製品仕様書をご確認の上、製品仕様内でご使用ください。  
「温度、操作電圧、周波数などの設置環境」
- ・通電前には、配線に誤りがないことをご確認ください。
- ・落下や強い衝撃を与えない様にしてください。  
「製品の破損の原因となります。」
- ・必要とされる端子（アース端子等）は、必ず配線してください。
- ・電気溶接を製品の近くで行う際は、配線を全て外してから実施ください。
- ・リード線は、無理に曲げたり、引っ張ったり、必要以上に長い線を使用しないでください。
- ・カバー及びリード引出口等は粉塵や雨水などが入らないよう確実に締め付けてください。
- ・腐食性雰囲気（NH<sub>3</sub>、SO<sub>2</sub>、Cl<sub>2</sub>等）では使用しないでください。



### 重要 (お客様の手助けとなる情報や注意事項を示します。)

#### 保証について

- ・製品の保証期間は、弊社出荷後1年間とします。
- ・本製品の使用によって発生した製品以外の損害については、保証の対象外とさせていただきます。
- ・下記の場合による故障や不具合は、保証の対象外とさせていただきます。

本取扱説明書に期された内容に従わなかった場合。

弊社以外の方が修理、改造を行った場合

弊社が定めた仕様範囲外での保管、取付、使用、点検、保守の場合

弊社製品以外の周辺機器、周辺装置などに起因する場合。

火災、地震、風水害、落雷、騒動、暴動、放射能汚染、戦争行為、及びその他天災地変などの不可抗力的事故による場合。

この保証条件は、お客様の法律上の権限を制限するものではありません。

- ・納入品の価格には、技術派遣などのサービス費用は含んでおりません。

## 1. ソフトウェア使用条件

### 対象ソフトウェア

- ・ PACTware ソフトウェア (著作権 : PACTware Consortium e.V.)
- ・ Matsushima DTM ソフトウェア (著作権 : 株式会社マツシマメジャテック)

PACTware ソフトウェア、Matsushima DTM ソフトウェアおよび関連する文書は、ディスク、コンパクトディスク、読み取り専用メモリ、オンラインまたはその他のメディアの状態にかかわらず、総称して「ソフトウェア」とします。

### 1-1. ソフトウェア使用許諾契約

- ・ PACTware ソフトウェアおよびその関連資料は、当社が「PACTware Consortium e.V.」から使用許諾を受けているものであり、貴社に対して譲渡不能かつ非独占を条件に使用を許諾するものです。
- ・ 本ソフトウェアは、1台のコンピューターにのみ使用することができます。
- ・ 本ソフトウェアおよびその関連資料を第三者に複製、販売、譲渡したり、ネットワークを通して1つのコンピューターから他のコンピューターへ伝送することはできないものとします。
- ・ 本ソフトウェアおよびその関連資料のいずれかの一部分を修正、翻訳し、レンタル、リース、転売などを行い、二次的著作物を創作することはできないものとします。
- ・ 本ソフトウェアは、いかなる明示または黙示の保証もなくそのままの形で提供されています。いかなる場合においても、ユーザーから生じるいかなる損害に対して一切責任を負いません。

### 1-2. データの保護

- ・ PACTware ソフトウェアおよびその関連資料に含まれる一切の技術、アルゴリズム、プロセス等のノウハウは、当社に対して権利を与えている「PACTware Consortium e.V.」の固有財産です。また本ソフトウェアおよびその関連資料も同様に当社の固有財産です。これらのソフトウェアおよびその関連資料は、貴社にてこれらを厳重に管理し、または特定の場所に保管し、いかなる理由においても貴社の限定された従業員またはこれに準ずるもの以外の第三者に開示、漏洩しないものとします。また、貴社はかかる従業員またはこれに準ずるものに対して、本項の義務と同様の義務を負わせていただきます。

### 1-3. リバースエンジニアリング等の禁止

- ・ ソフトウェアに関するリバースエンジニアリング（ソフトウェアプログラムおよびその関連資料を調査、分析、解析して技術情報を抽出すること）ならびにデコンパイル、ディスアセンブル、その他の方法により人間が読み取り可能な形にすることは禁止いたします。

## 2. 概要

本書は、26GHz 帯マイクロ波レベル計のパラメータ設定、波形調整等を行うソフトウェア MWLM-PR26 HART DTM（以下 Matsushima DTM と省略）をインストールするためのマニュアルです。

「Matsushima DTM」は、フレームアプリケーション「PACTware」上で動作するデバイス DTM で、レベル計との通信を行うソフトウェア「通信 DTM」と合わせて使用します。

・DTM(デバイスタイプマネージャー) :

DTM は、フィールド機器用ソフトウェアでフレームアプリケーション上で動作します。

・PACTware (プロセスオートメーションコンフィギュレーションツール) :

PACTware は、フィールド機器調整ツールで機器メーカーに依存しないフレームアプリケーションソフトウェアです。

フィールド機器との通信は、通信 DTM を介して HART プロトコルを使用しています。

### インストールに必要な動作環境

ソフトウェア		
	OS (※1)	Windows Vista, Windows 7, 8, 10, (※2) 11
	実行環境	Microsoft.NET Framework 3.5 及び 4.0 以上 (※3)
ハードウェア		
	CPU	1GHz 以上
	メモリ (※4)	512MB 以上
	ハードディスク	空き容量 1GB 以上
	画面解像度	1024 x 768 ピクセル以上
	インターフェース	USB 1ポート以上
	マウス	Microsoft 互換マウスまたは相当のポインティングデバイス
	CDドライブ	ソフトウェアインストール用
	HART モデム	MHM-01、MHM-02 (推奨)
その他		
	Microsoft office (推奨)	CSV ファイルを EXCEL で参照する場合に使用
	Adobe Acrobat Reader (推奨)	pdf ファイルを参照する場合に使用します。

(※1) Windows 95、98、ME、NT4.0 及び Windows 2000、XP は PACTware5.0 ではサポートされていません。

(※2) Windows11 は PACTware5.0 ではサポートされていませんが、Matsushima DTM の言語を英語に設定したときのみ動作することを確認しています。

(※3) Microsoft.NET Framework 3.5 及び 4.0 以上 は PACTware 5.0 に使用します。

(※4) Matsushima DTM は波形データを記録する機能があります。

3日間以上 波形データを記録する場合、メモリが 2GB 以上のものを使用して下さい。

### 商標

HART は FieldComm Group の登録商標です。

PACTware は、PACTware Consortium e.V. の登録商標または商標です。

Microsoft、EXCEL、Windows、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Adobe®、Acrobat® Reader は、Adobe Inc. (アドビ株式会社) の商標です。

エムシステムロゴは株式会社エム・システム技研の商標です。

「マツシマメジャテック」ロゴは、(株)マツシマメジャテックの商標または登録商標です。

### 3. インストール

- ・セットアップ内容 : - PACTware 5.0 (PACTware Consortium e.V. 製)
  - Generic HART-DTM (ICS 社製)
  - HART Communication DTM (codeWRIGHTS 社製)
  - Matsushima DTM (マツシマメジャテック製)
  - HART モデムドライバ (MHM-01 : ProComSol 社製、MHM-02 : エムジー社製)

#### 3-1. インストール前の確認

##### 3-1-1. 管理者 (Administrator) 権限の確認

インストールを始める前に、開かれているすべてのプログラムを終了して下さい。

ソフトウェアインストールの際は、管理者 (Administrator) の権限が必要です。

コンピューターは管理者 (Administrator) の権限でサインインして下さい。

- ・管理者 (Administrator) 権限の確認

「コントロールパネル」>「ユーザーアカウント」>「ユーザーアカウント」>  
「ユーザーアカウントの管理」でご使用のユーザー名のグループが「Administrators」  
であることを確認してください。

「Administrators」でない場合は、プロパティで「Administrators」に設定して下さい。

- ・ウイルス対策ソフトの一時無効化

お使いのウイルス対策ソフトによっては、Matsushima DTM がインストールできない場合があります。その際は、ウイルス対策ソフトを一時的に”無効”とし、インストール実施後再び”有効”としてください。

##### 3-1-2. インストール手順の確認

###### (1) 新規にインストールする場合

以下 (a) ~ (e) の手順を行ってください。

- (a) 3-1-3. Microsoft. NET Framework の確認
- (b) 3-2. PACTware パッケージのインストール
- (c) 3-4. HART モデムドライバのインストール
- (d) 4. 自動起動設定
- (e) 5. 言語設定

###### (2) 「PACTware」と「Matsushima DTM」をバージョンアップする場合

既に「PACTware」、「Generic HART-DTM」、「HART Communication DTM」、「Matsushima DTM」、  
「HART モデムドライバ」、がインストールされていて「PACTware」と「Matsushima DTM」を  
最新バージョンに更新する場合には行います。

以下 (a) ~ (f) の手順を行ってください。

- (a) 3-1-3. Microsoft. NET Framework の確認
- (b) 現在インストールされているソフトウェアのアンインストール  
下記項目 7-1~7-5 を実施してアンインストールしてください。  
また以前作成した起動ファイル (プロジェクトファイル) 「Matsushima DTM. PW\*」を  
削除してください。
  - 7-1. PACTware のアンインストール
  - 7-2. Generic HART-DTM のアンインストール
  - 7-3. HART Communication DTM のアンインストール
  - 7-4. Matsushima DTM のアンインストール
  - 7-5. HART モデムドライバのアンインストール
- (c) 3-2. PACTware パッケージのインストール
- (d) 3-4. HART モデムドライバのインストール

(e) 4. 自動起動設定

(f) 5. 言語設定

(3) 「Matsushima DTM」のみバージョンアップする場合

既に「PACTware」、「Generic HART-DTM」、「HART Communication DTM」、「Matsushima DTM」、「HART モデムドライバー」、がインストールされていて「Matsushima DTM」のみバージョンアップする場合に行います。下記ケースが該当します。

- ・ PACTware を他社製の DTM と共用していて PACTware をアンインストールできない場合
- ・ 既に同じ PACTware がインストールされている場合

以下 (a) ~ (d) の手順を行ってください。

(a) 7-4. Matsushima DTM のアンインストール

現在インストールされている Matsushima DTM をアンインストールしてください。

また以前作成した起動ファイル（プロジェクトファイル）「Matsushima DTM.PW\*」を削除してください。

(b) 3-3. Matsushima DTM のインストール

(c) 4. 自動起動設定

(d) 5. 言語設定

### 3-1-3. Microsoft.NET Framework の確認

PACTware5.0 は Microsoft.NET Framework 3.5 及び 4.0 を使用しています。

Microsoft.NET Framework 3.5 及び 4.0 以上のインストールが必要です。

#### <Windows Vista の場合>

Microsoft.NET Framework 3.5 及び 4.0 は標準でインストールされていません。

Microsoft.NET Framework 3.5 及び 4.0 以上のインストールが必要です。

「コントロールパネル」>「プログラムと機能」で現在インストールされているプログラムを確認します。

「Microsoft.NET Framework3.5」と「Microsoft.NET Framework4.\*」がインストールされていることを確認してください。インストールされていない場合は、インターネットに接続して「コントロールパネル」>「Windows Update」で Windows 更新プログラムを実施してください。

Windows 更新プログラム実行後もインストールされていない場合は

Microsoft 社のホームページより、

Microsoft.NET Framework 3.5 及び 4.0 をダウンロードしてインストールして下さい。

#### <Windows 7 の場合>

Microsoft.NET Framework 3.5 は標準でインストールされていますが

Microsoft.NET Framework 4.0 は標準でインストールされていません。

Microsoft.NET Framework 4.0 以上のインストールが必要です。

「コントロールパネル」>「プログラム」>「プログラムと機能」で現在インストールされているプログラムを確認します。

「Microsoft.NET Framework 3.5」は標準でインストールされており表示されません。

「Microsoft.NET Framework4.\*」がインストールされていることを確認してください。

インストールされていない場合は、インターネットに接続して「コントロールパネル」>「システムとセキュリティ」>「Windows Update」で Windows 更新プログラムを

実施してください。

Windows 更新プログラム実行後もインストールされていない場合は

Microsoft 社のホームページより、

Microsoft.NET Framework 4.0 をダウンロードしてインストールして下さい。

## <Windows 8、10、11の場合>

Microsoft.NET Framework 3.5は標準でインストールされていません。

Microsoft.NET Framework 3.5を「Windowsの機能」で有効化してインストールする必要があります。

ご使用のパソコンにより既にMicrosoft.NET Framework 3.5はWindowsの機能で有効化されているものがあります。

この場合はMicrosoft.NET Framework 3.5のインストールの必要はありません。

Microsoft.NET Framework 4.0は標準(4.5以上)がインストールされています。

「Windows機能の有効化または無効化」を確認して下さい。

「スタート」をクリックし、表示されたアプリの一覧から「Windowsシステムツール」

をクリックして下さい。表示された一覧から「コントロールパネル」をクリックして下さい。



コントロールパネルが表示されます。「プログラム」をクリックして下さい。

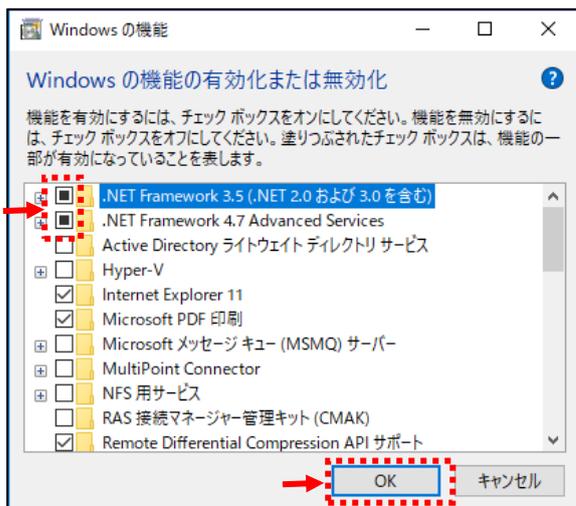


「プログラム」画面が表示されます。「Windowsの機能の有効化または無効化」をクリックして下さい。



「Windowsの機能の有効化または無効化」画面が表示されます。

「.NET Framework 3.5(.NET 2.0 および 3.0 を含む)」、「.NET Framework 4.\* Advanced Services」にチェックが入っていることを確認してください。



上記2項目にチェックが入っていない場合は、インターネットに接続し、上記2項目にチェックを入れて「OK」をクリックして下さい。確認画面が表示されます。

「Windows Update からファイルをダウンロードする」をクリックして下さい。

ダウンロードとインストールが開始されます。インストール終了後、再度確認して下さい。

上記2項目にチェックが入っていない場合は、インターネットに接続して、「Windows Update」でWindows 更新プログラムを実施してください。

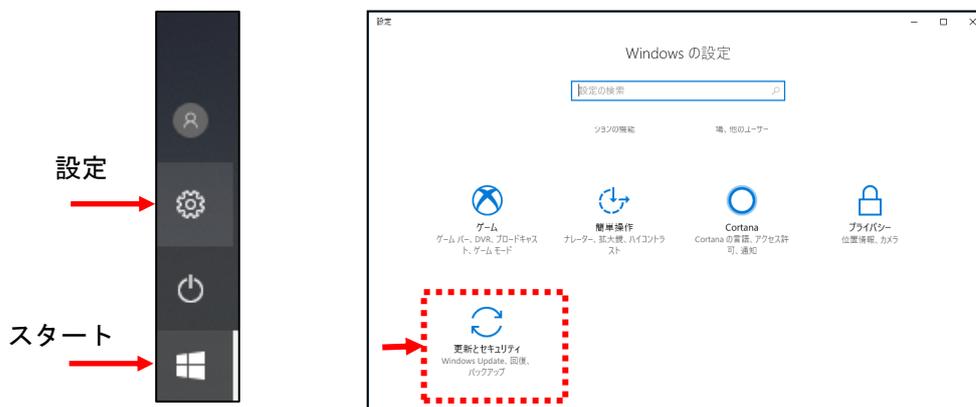
Windows 更新プログラム実行後もチェックが入らない場合は

Microsoft 社のホームページより、

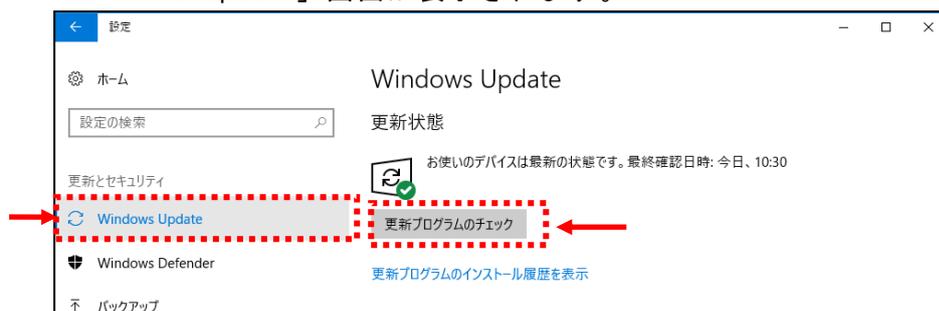
Microsoft .NET Framework 3.5 をダウンロードしてインストールして下さい。

#### < 「Windows Update」方法 >

「スタート」 > 「設定ボタン」をクリックし、「Windows の設定」画面を表示して「更新とセキュリティ」をクリックして下さい。



「Windows Update」画面が表示されます。



「Windows Update」で「更新プログラムのチェック」をクリックしてください。更新プログラムがあれば自動でインストールされます。

### 3-2. PACTware パッケージのインストール

PACTware パッケージには下記の4つのプログラムが含まれます。

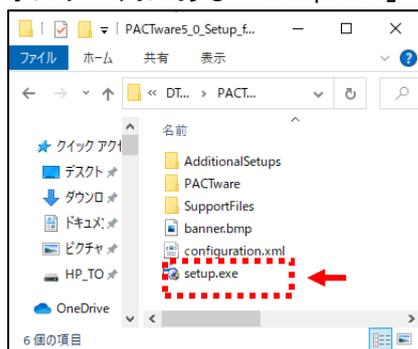
セットアップを実行すると下記の4つのプログラムが順次インストールされます。

- (1) PACTware 5.0
- (2) Generic HART-DTM
- (3) HART Communication DTM
- (4) Matsushima DTM

#### (1) PACTware のインストール

付属CD「DTM\_Install\_Disc\_Ver2\_\*\_\*\*」をCDドライブに挿入して下さい。

CD「DTM\_Install\_Disc\_Ver2\_\*\_\*\*」内の「PACTware5\_0\_Setup\_for\_MWLM-PR26\_HART\_DTM\_V2\_\*\_\*\*」フォルダー内にある「setup.exe」ファイルをダブルクリックして下さい。



¥ DTM\_Install\_Disc\_Ver2\_\*\_\*\*

¥ PACTware5\_0\_Setup\_for\_MWLM-PR26\_HART\_DTM\_V2\_\*\_\*\*

¥ setup.exe

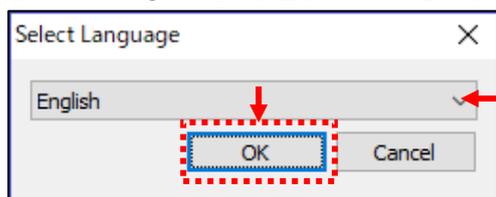
Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。

(「この不明な発行元からアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」)

「はい」をクリックして下さい。

言語選択画面が表示されます。希望する言語を選択し、「OK」をクリックして下さい。

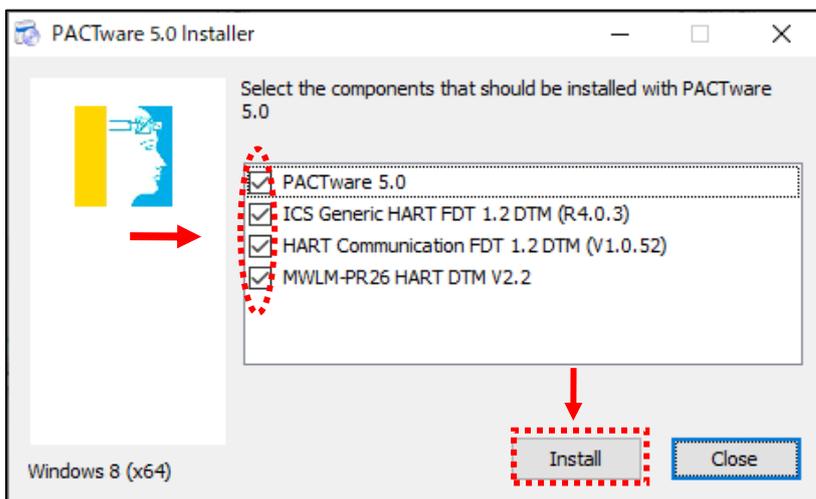
通常は「English」を選択して下さい。



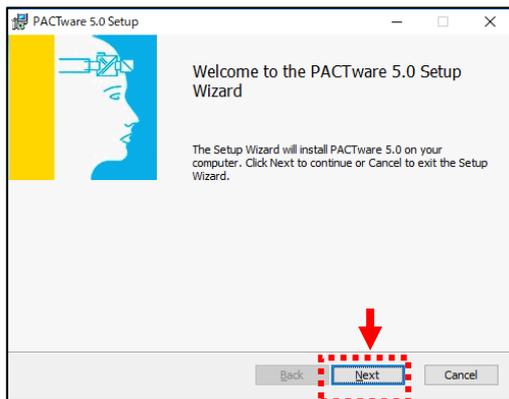
インストールソフトウェア選択画面が表示されます。

全てのチェックボックスにチェックを入れ「Install」をクリックして下さい。

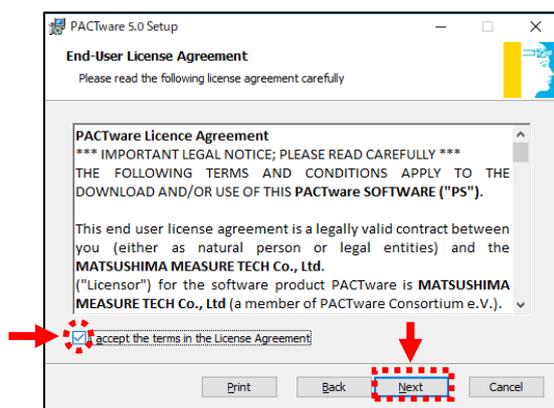
既にインストールされている項目はチェックが外れています。



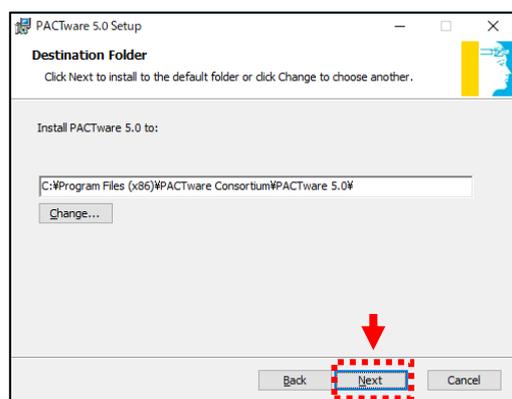
インストールの準備が開始されます。準備完了後、下記セットアップ画面が表示されます。「Next」をクリックして下さい。



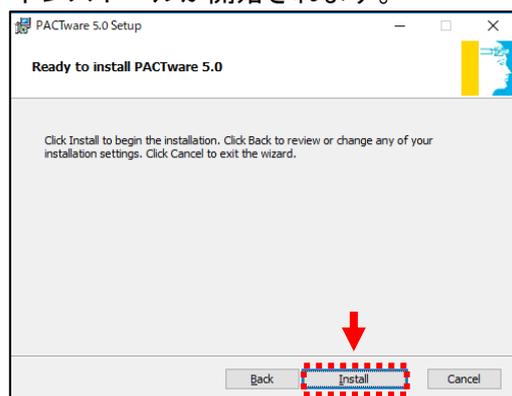
使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約の内容をご確認の上「I accept the terms of the License Agreement」（同意する）にチェックを入れ「Next」をクリックして下さい。



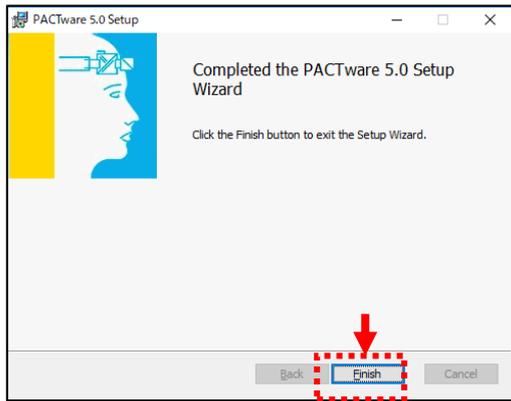
インストールするフォルダーの確認画面が表示されます。「Next」をクリックして下さい。



インストールの開始画面が表示されます。「Install」をクリックして下さい。インストールが開始されます。



インストールが終了したら、インストール終了画面が表示されます。  
「Finish」をクリックし、インストールを終了して下さい。

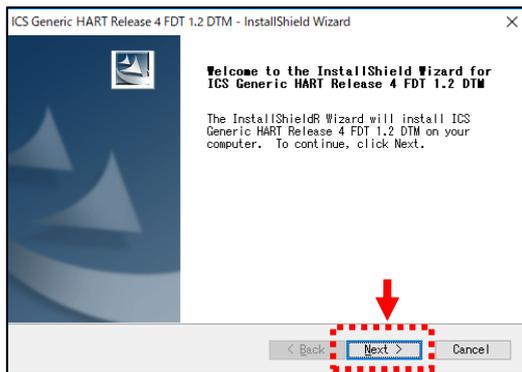


PACTware のインストール終了後、(2) Generic HART-DTM のインストールが開始されます。

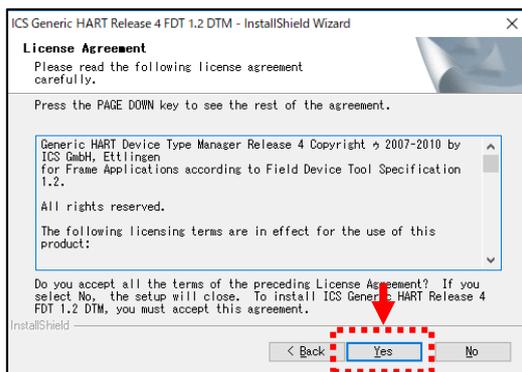
## (2) Generic HART-DTM のインストール

(1) PACTware のインストール終了後、下記セットアップ画面が表示されます。

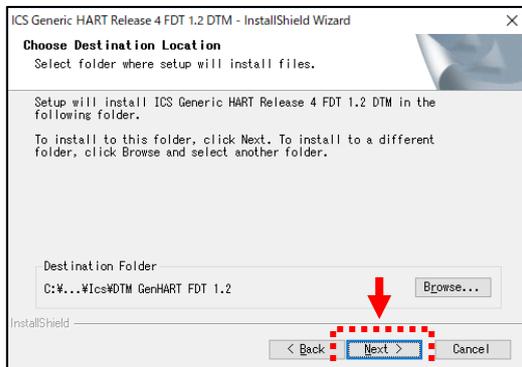
「Next」をクリックして下さい。



使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約の内容をご確認の上、「YES」（同意する）をクリックして下さい。



インストールするフォルダーの確認画面が表示されます。「Next」をクリックして下さい。

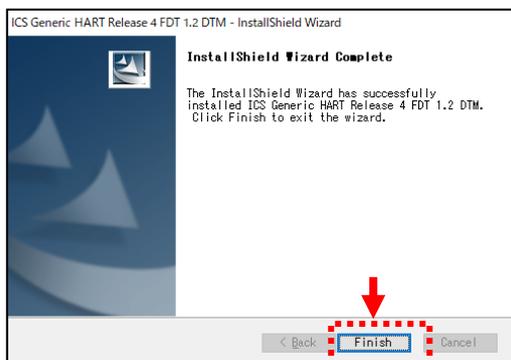


\* インストール先を変更しないでください。  
変更した場合は、正常に動作しない可能性があります。

「Next」をクリックすると Generic HART-DTM のインストールが開始されます。

Generic HART-DTM のインストールが終了するとインストール終了画面が表示されます。

「Finish」をクリックし、インストールを終了して下さい。



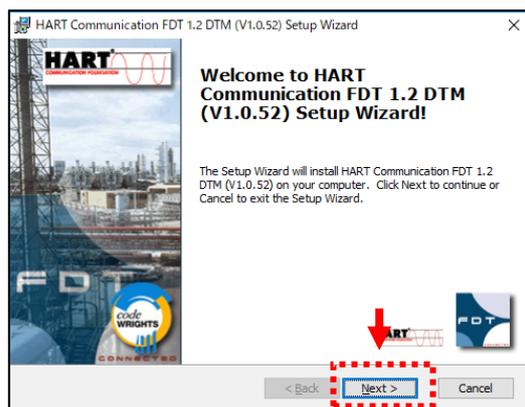
インストール終了後、(3) HART Communication DTM のインストールが開始されます。

### (3) HART Communication DTM のインストール

(2) Generic HART-DTM のインストール終了後、下記言語選択画面が表示されます。  
希望する言語を選択し、「OK」をクリックして下さい。  
通常は「English」を選択して下さい。



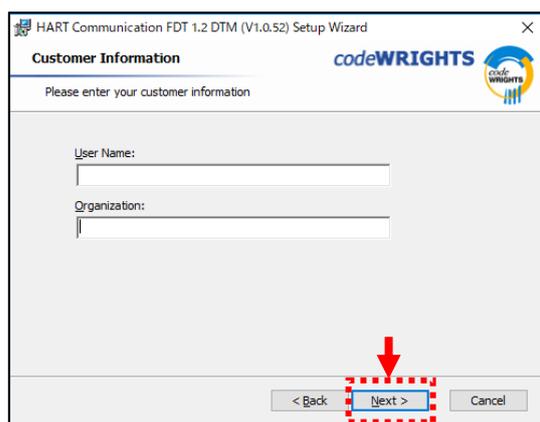
下記セットアップ画面が表示されます。「Next」をクリックして下さい。



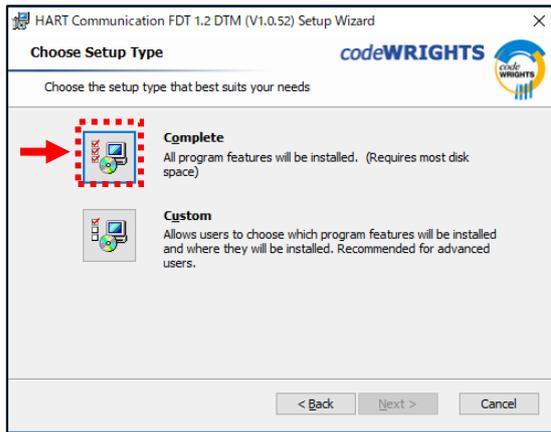
使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約の内容をご確認の上、  
「I accept the terms in the license agreement」(同意する)にチェックを入れ  
「Next」をクリックして下さい。



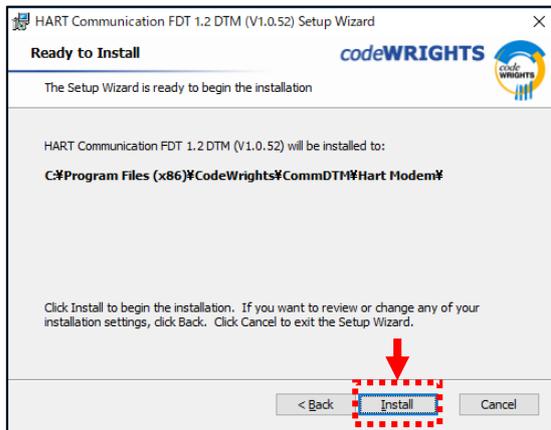
お客様情報を入力画面が表示されます。お客様の「User Name」と「Organization」を入力し  
「Next」をクリックして下さい。



セットアップタイプ選択画面が表示されます。「Complete」をクリックして下さい。



インストール確認画面が表示されます。「Install」をクリックして下さい。



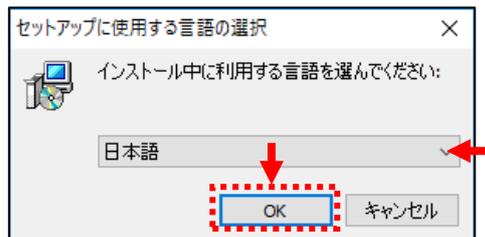
「Install」をクリックすると HART Communication DTM のインストールが開始されます。  
HART Communication DTM のインストール終了後、終了画面が表示されます。  
「Finish」をクリックし、インストールを終了して下さい。



インストール終了後、(4) Matsushima DTM のインストールが開始されます。

#### (4) Matsushima DTM のインストール

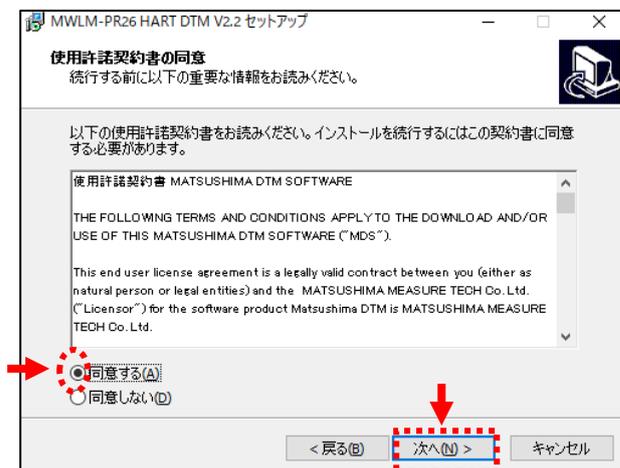
(3) HART Communication DTM のインストール終了後、下記言語選択画面が表示されます。希望する言語を選択し、「OK」をクリックして下さい。通常は「日本語」を選択して下さい。



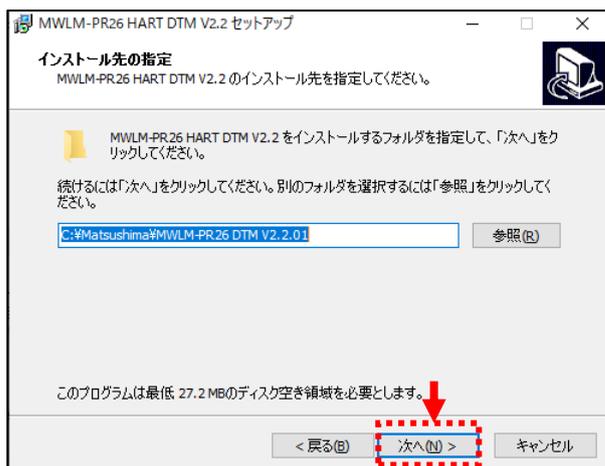
下記セットアップ画面が表示されます。「次へ(N)>」をクリックして下さい。



使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約の内容をご確認の上、「同意する (A)」にチェックを入れ「次へ(N)」をクリックして下さい。



インストールするフォルダーの確認画面が表示されます。「次へ(N)」をクリックして下さい。

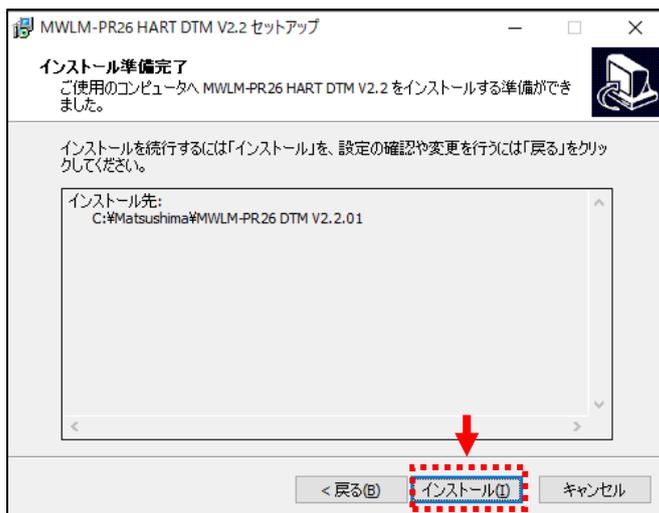


\* インストール先を変更しないでください。  
変更した場合は、正常に動作しない可能性があります。

インストールするフォルダーは「C:\¥Matsushima¥MWLM-PR26 DTM V2.\*.\*\*」になります。  
Matsushima DTM をインストールする際にフォルダーチェックが行われます。  
フォルダーが存在しない場合は下記画面が表示されます。  
下記画面が表示された場合は、「はい(Y)」をクリックしてください。  
C:\¥Matsushima¥MWLM-PR26 DTM V2.\*.\*\*のフォルダーが作成されます。



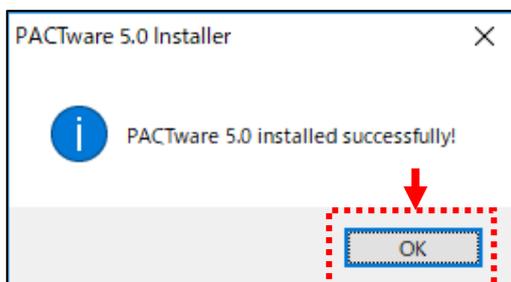
インストール確認画面が表示されます。「インストール(I)」をクリックして下さい。



「インストール(I)」をクリックすると Matsushima DTM のインストールが開始されます。  
Matsushima DTM のインストール終了後、終了画面が表示されます。  
「完了(F)」をクリックし、インストールを終了して下さい。



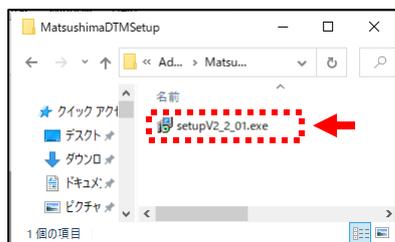
PACTware のインストール終了画面が表示されます。  
「OK」をクリックし PACTware のインストールを完了させて下さい。



### 3-3. Matsushima DTM のインストール

この操作は「Matsushima DTM」のみをインストールする場合に行います。

付属CD「DTM\_Install\_Disc\_Ver2\_\*\_\*\*」内の「PACTware5\_0\_Setup\_for\_MWLM-PR26\_HART\_DTM\_V2\_\*\_\*\*」フォルダー内の「AdditionalSetups」フォルダー内の「MatsushimaDTMSetup」フォルダー内にある「setupV2\_\*\_\*\*.exe」ファイルをダブルクリックして下さい。

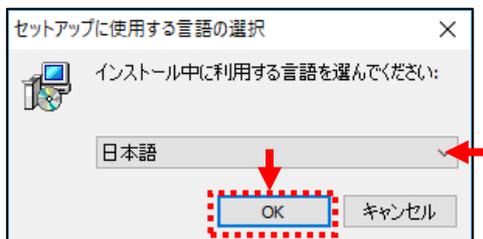


¥ DTM\_Install\_Disc\_Ver2\_\*\_\*\*  
¥ PACTware5\_0\_Setup\_for\_MWLM-PR26\_HART\_DTM\_V2\_\*\_\*\*  
¥ AdditionalSetups  
¥ MatsushimaDTMSetup  
¥ setupV2\_\*\_\*\*.exe

Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。

(「この不明な発行元からアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」)  
「はい」をクリックして下さい。

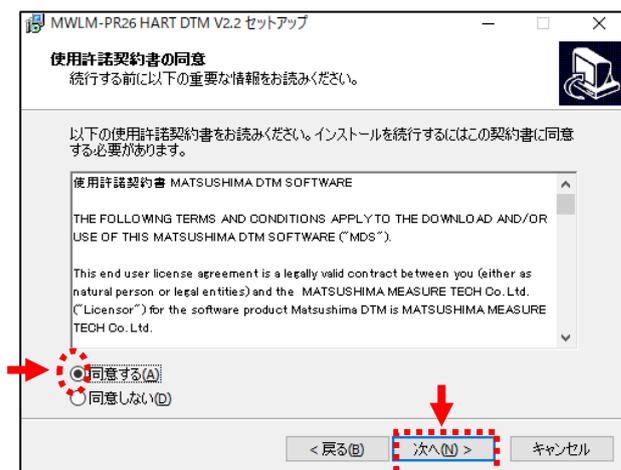
希望する言語を選択し、「OK」をクリックして下さい。  
通常は「日本語」を選択して下さい。



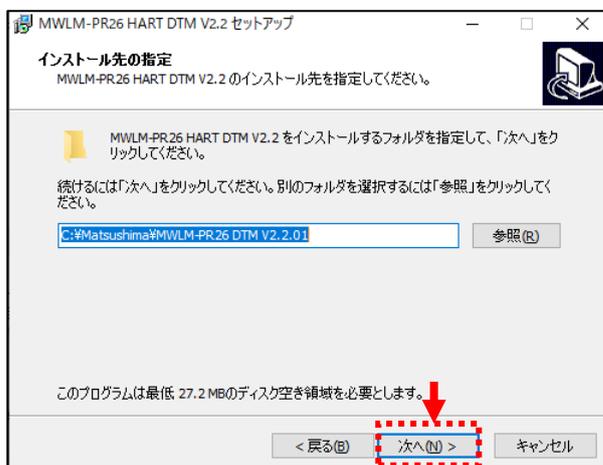
下記セットアップ画面が表示されます。「次へ(N)>」をクリックして下さい。



使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約の内容をご確認の上、  
「同意する (A)」にチェックを入れ「次へ (N)」をクリックして下さい。



インストールするフォルダーの確認画面が表示されます。「次へ (N)」をクリックして下さい。



\* インストール先を変更しないでください。  
変更した場合は、正常に動作しない可能性があります。

インストールするフォルダーは「C:\¥Matsushima¥MWLM-PR26 DTM V2. \*. \*\*」になります。  
Matsushima DTM をインストールする際にフォルダーチェックが行われます。  
フォルダーが存在しない場合は下記画面が表示されます。  
下記画面が表示された場合は、「はい (Y)」をクリックしてください。  
C:\¥Matsushima¥MWLM-PR26 DTM V2. \*. \*\*のフォルダーが作成されます。



インストール確認画面が表示されます。「インストール(I)」をクリックして下さい。



「インストール(I)」をクリックすると Matsushima DTM のインストールが開始されます。

Matsushima DTM のインストール終了後、終了画面が表示されます。

「完了(F)」をクリックし Matsushima DTM のインストールを完了させて下さい。



### 3-4. HART モデムドライバーのインストール

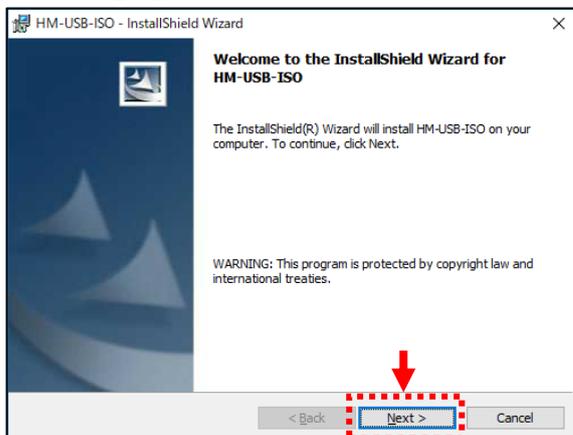
HART モデムによってインストールするドライバーが異なります。

MHM-01 の場合は 3-4-1.、MHM-02 の場合は 3-4-2. の手順に従ってインストールして下さい。

#### 3-4-1. MHM-01 の場合

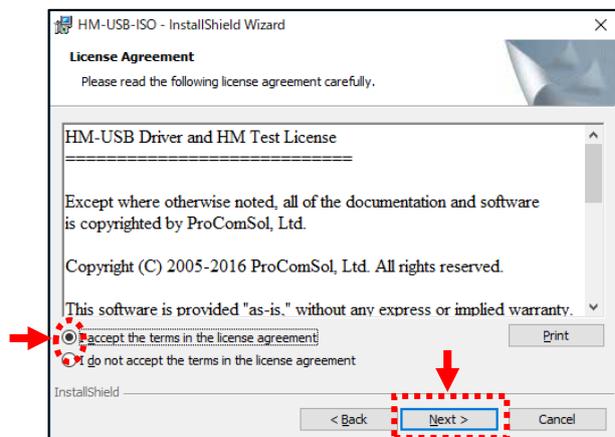
付属のドライバーCD「USB Virtual Serial Port Driver (Rev5.6 以上)」を  
CDドライブに挿入して下さい。自動的に下記セットアップ画面が表示されます。

「Next」をクリックして下さい。

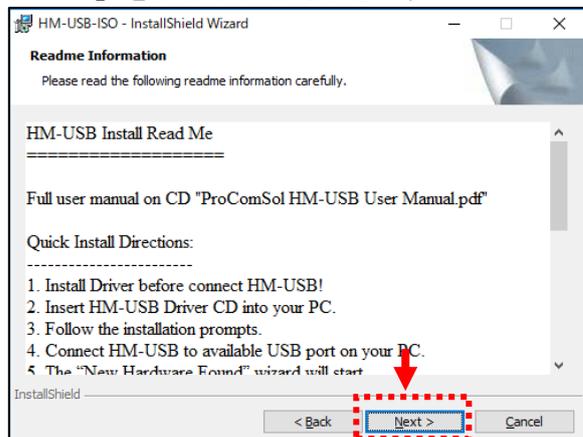


使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約の内容をご確認の上、

「I accept the terms in the license agreement」(同意する)にチェックを入れ  
「Next」をクリックして下さい。



インストール注意事項が表示されます。インストール注意事項の内容をご確認の上、  
「Next」をクリックして下さい。

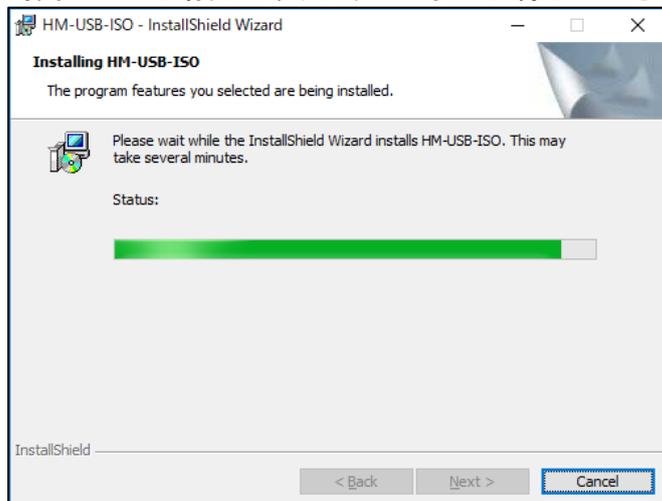


Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。

(「この不明な発行元からアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」)  
「はい」をクリックして下さい。

自動で HART モデムドライバーのインストール準備が開始されます。

時間がかかる場合がありますので少々お待ちください。



タスクバーにドライバーソフトが隠れているので、タスクバーの確認を行ってください。  
タスクバーのアイコンをクリックして下さい。

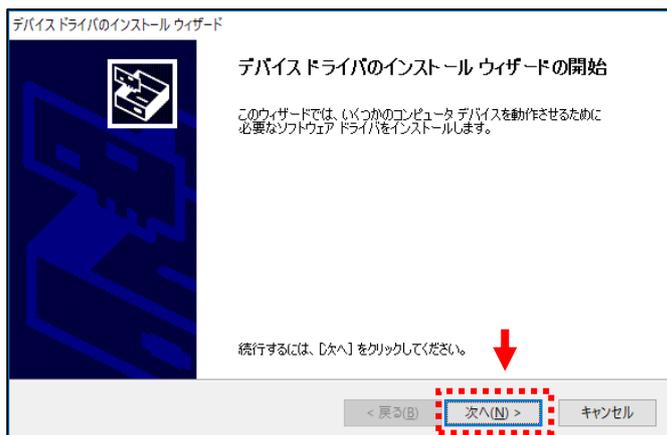


インストーラを起動するための確認画面が表示されます。

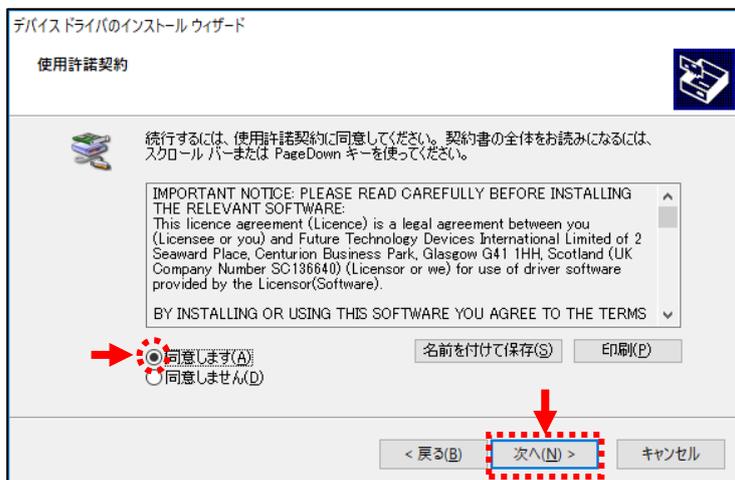
「Extract」をクリックして下さい。



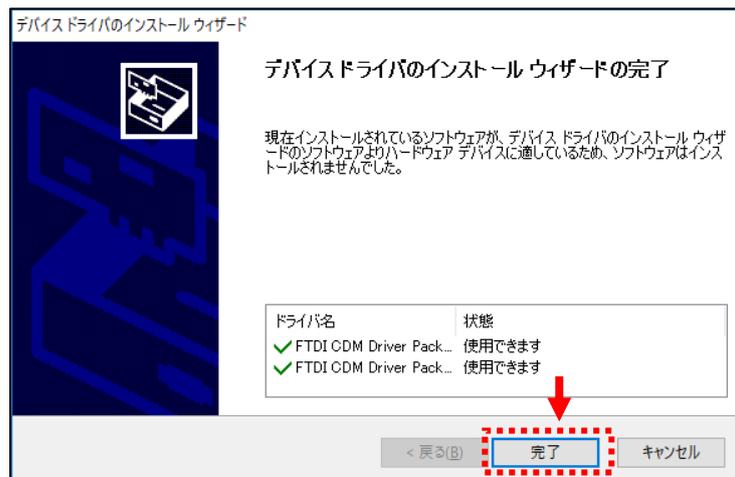
デバイスドライバーのインストール確認画面が表示されます。  
「次へ」をクリックして下さい。



使用許諾契約が表示されます。使用許諾契約の内容をご確認の上、  
「同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックして下さい。

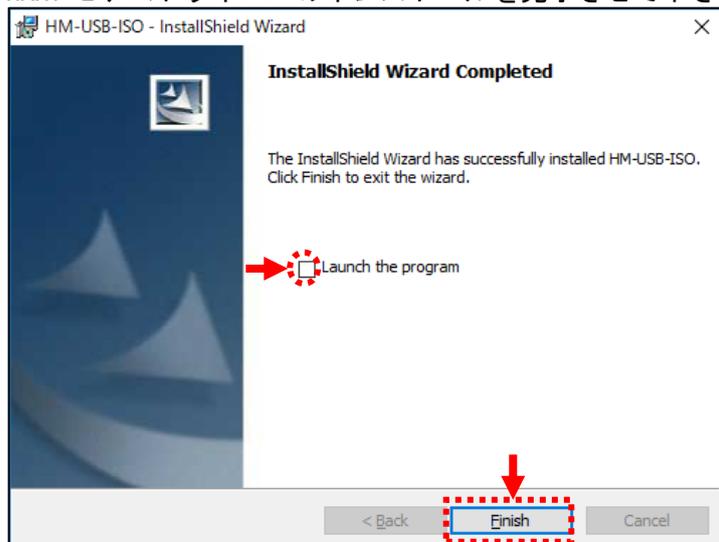


デバイスドライバーのインストール完了画面が表示されます。  
「完了」をクリックして下さい。

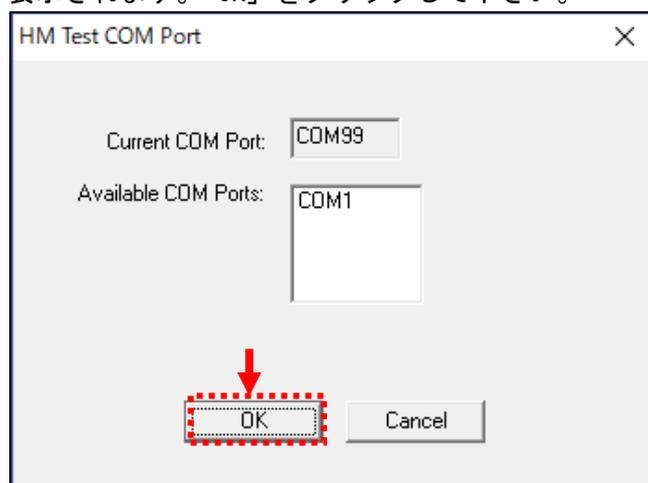


終了画面が表示されます。

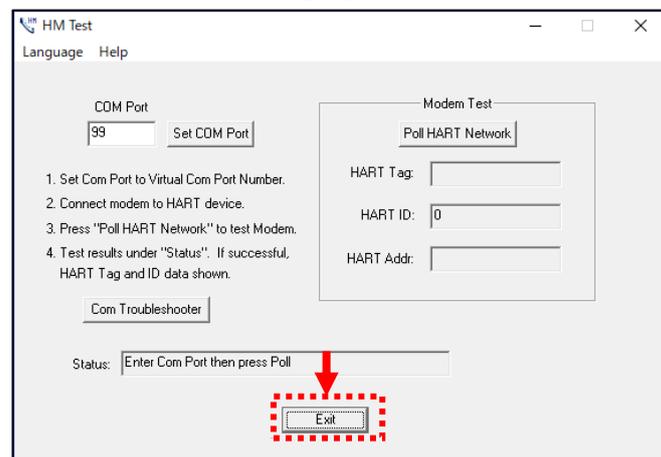
「Launch the Program」のチェックを外して「Finish」をクリックしHART モデムドライバーのインストールを完了させて下さい。



「Launch the Program」をチェックした場合「Finish」をクリックすると下記画面が表示されます。「OK」をクリックして下さい。



「OK」をクリックすると下記テスト画面が表示されます。「Exit」をクリックし終了して下さい。



### 3-4-2. MHM-02 の場合

付属のドライバーCD「COP-HU Driver (Rev.3以上)」をCDドライブに挿入して下さい。自動的に下記セットアップ画面が表示されます。「次へ」をクリックして下さい。

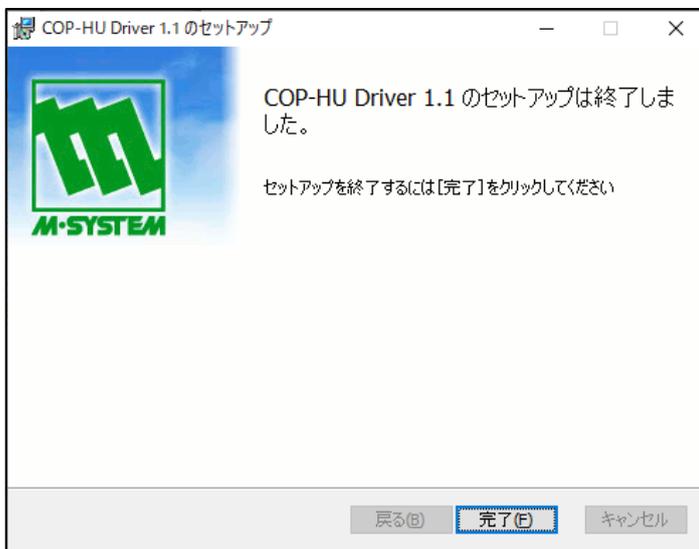


Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。  
（「この不明な発行元からアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」）  
「はい」をクリックして下さい。

デバイスドライバーのインストール確認画面が表示されます。  
「インストール」をクリックして下さい。



デバイスドライバーのインストール完了画面が表示されます。  
「完了」をクリックして下さい。



#### 4. 自動起動設定

自動起動設定は、デスクトップのアイコンを使用し当社製 Matsushima DTM のみを起動させる設定です。

\* 本設定を行う前に、使用する HART モデム (MHM-01、または MHM-02) をパソコンの USB ポートに接続して下さい。

接続していない場合は、通信 DTM の設定時に COM ポート番号が表示されませんので、必ず接続して下さい。

\* 本設定を行わず、デスクトップのアイコン (PACTware) をダブルクリックまたは「スタート」>「プログラム」>「PACTware」で PACTware を起動すると初期画面で起動されるか、他社製の DTM を使用している場合は他社製の DTM が起動する可能性があります。

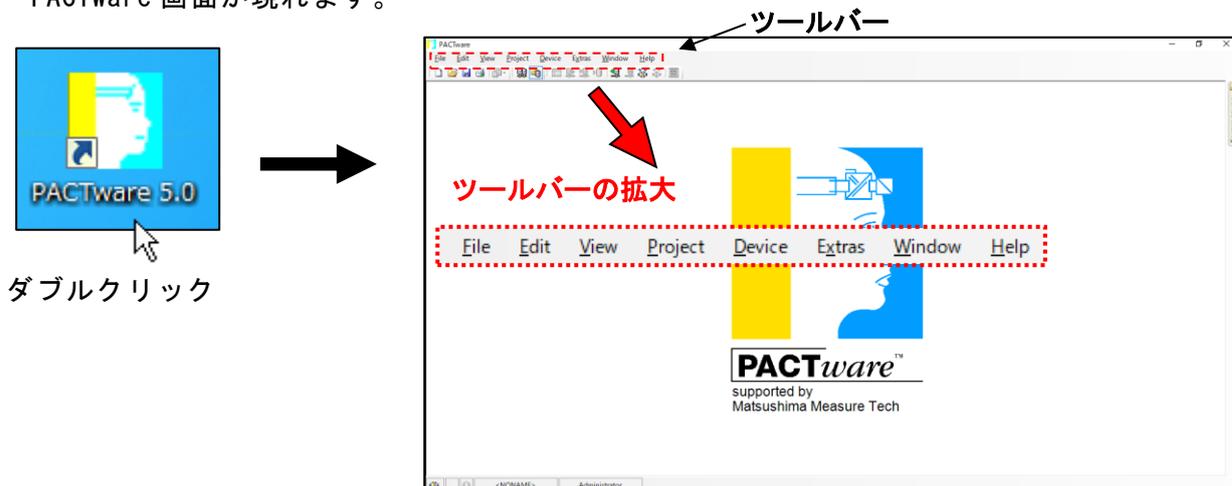
本設定は、他社製の DTM と区別するため当社製 Matsushima DTM 専用の PACTware プロジェクトファイルのアイコンを作成し、そのアイコンのダブルクリックで当社製 Matsushima DTM を起動するようにする設定です。

次の 4-1. から 4-4. までの設定を順に必ず行って下さい。

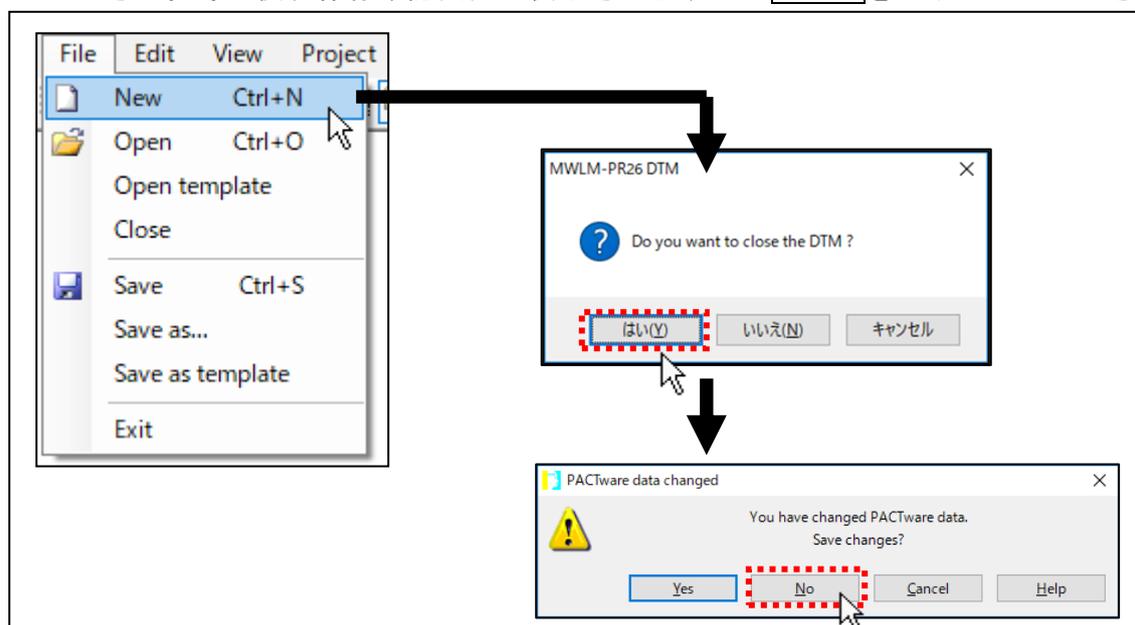
##### 4-1. PACTware の起動

デスクトップのアイコン (PACTware) をダブルクリックして下さい。

PACTware 画面が現れます。



ツールバー「File」の New をクリックして下さい。  
既に他の DTM が起動している場合、終了確認画面が表示されますので  はい (Y) をクリックして下さい。その後、保存確認画面が表示されますので  No をクリックして下さい。



## 4-2. デバイスカタログの確認

### (1) デバイスカタログの確認

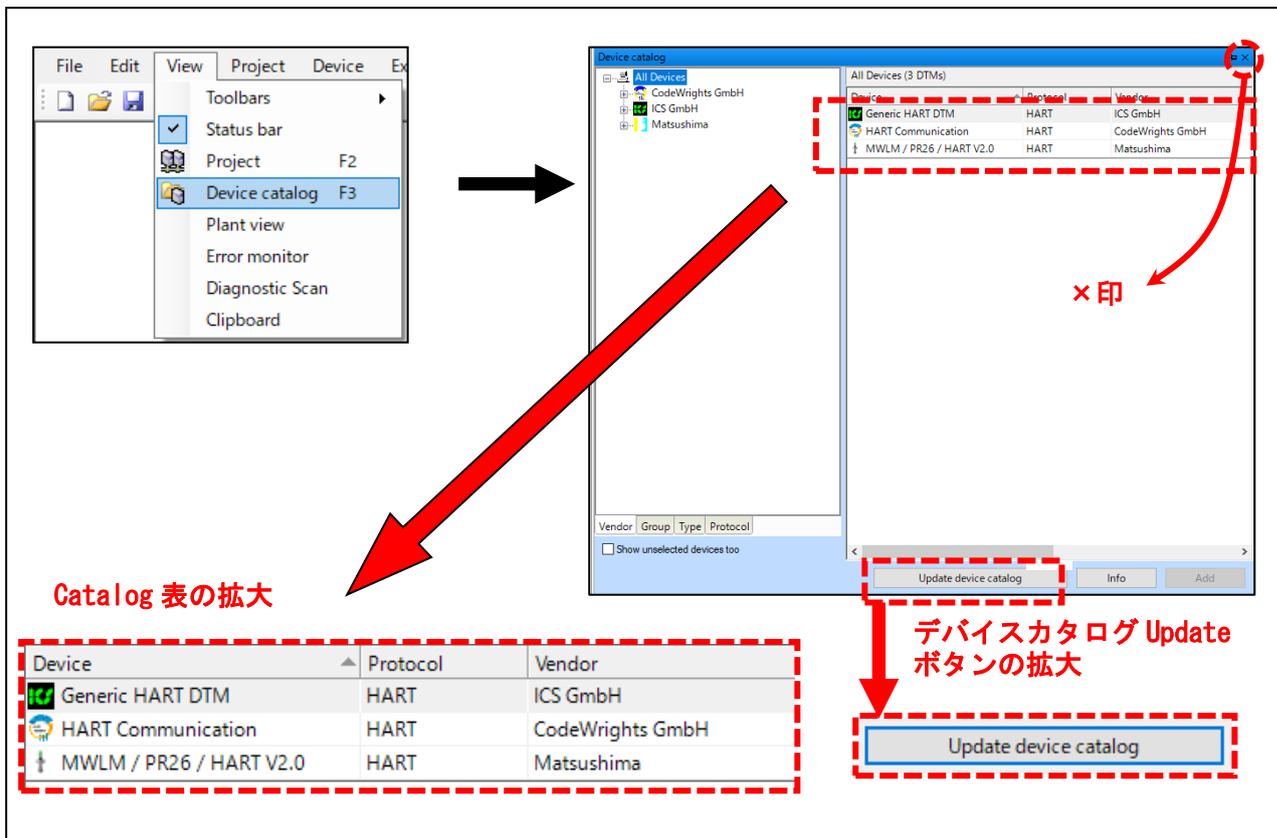
ツールバー「View」の「Device catalog F3」をクリックして下さい。

「Device catalog 画面」が表示されます。

( \* 既に「Device catalog 画面」が表示されている状態で「Device catalog F3」をクリックすると「Device catalog 画面」が消えます。

その場合はもう一度ツールバー「View」の「Device catalog F3」をクリックして、「Device catalog 画面」を表示して下さい。)

Catalog の表に『Generic HART DTM』『HART Communication』『MWLM/PR26/HART』の3種類が表示されていることを確認して下さい。



### インストールやバージョンアップした場合

「Device catalog」下の「Update device catalog」ボタンをクリックして

「Device catalog」を更新して下さい。

確認ボタンが表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。

「Device catalog」を更新します。

更新した結果、「catalog」の表に3種類表示されていることを確認して下さい。

確認終了後、「Device catalog」の×印をクリックして画面を閉じて下さい。

( \* 「Device catalog」を閉じないと、(4)Projectの保存(36頁参照)でプロジェクトファイルを保存する際に、「Device catalog」が表示される状態で保存されます。画面サイズが小さいパソコンを使用すると、「Matsushima DTM」表示エリアが狭くなり見づらくなる場合があります。)

### ・「MWLM/PR26/HART」が表示されない場合

インストール時にパソコンの再起動の指示があった際にパソコンの再起動を行っていない可能性があるため、4-4. プログラムの終了を行って PACTware を終了させてパソコンを再起動して下さい。再確認の際は、4-1. PACTware の起動から行って下さい。

パソコンを再起動しても「catalog」の表に「MWLM/PR26/HART」が表示されない場合 4-4. プログラムの終了を行って PACTware を終了させて (3) Microsoft MSXML のインストールを実施して下さい。再確認の際は、4-1. PACTware の起動から行って下さい。

## (2) Matsushima DTM のバージョン確認

Matsushima DTM をバージョンアップした場合には行います。

ツールバー「View」の「Device catalog F3」をクリックして下さい。

「Device catalog 画面」が表示されます。

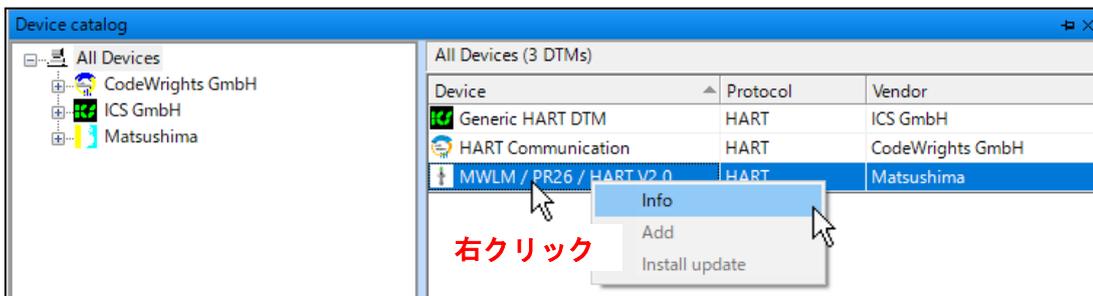
「Device catalog」下の「Update device catalog」ボタンをクリックして

「Device catalog」を更新して下さい。

確認ボタンが表示されますので、「はい(Y)」ボタンをクリックして下さい。

「Device catalog」を更新します。

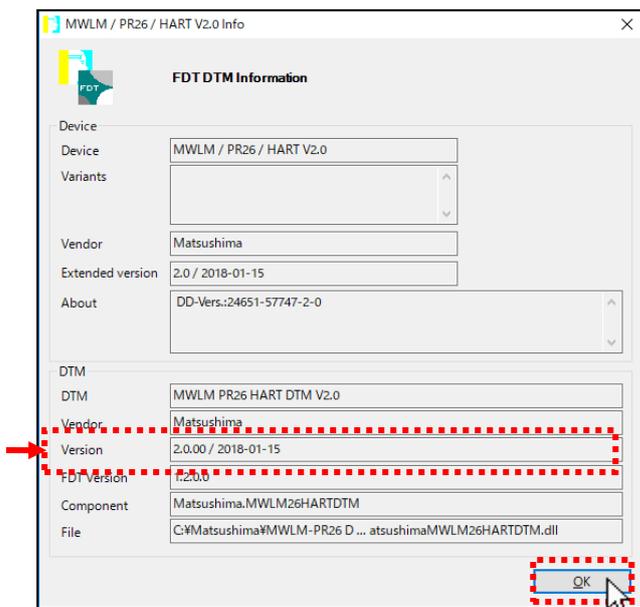
「MWLM/PR26/HART」が最新バージョン(付属CDタイトル Ver\*. \*. \*\*)と同じになっていることを確認してください。(例: Ver2.0.00)



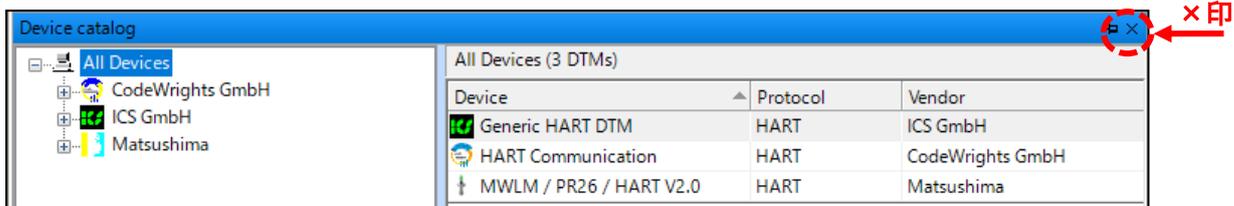
「Device catalog」画面の「MWLM/PR26/HART」を右クリックし「Info」をクリックします。「MWLM/PR26/HART」の情報画面が表示されます。

DTM Versionの項目で最新バージョン(付属CDタイトル Ver\*. \*. \*\*)と同じになっていることを確認してください。(例: Ver2.0.00)

確認終了後「OK」をクリックして下さい。「MWLM/PR26/HART」の情報画面が消えます。



バージョン確認終了後、「Device catalog」の×印をクリックして画面を閉じて下さい。

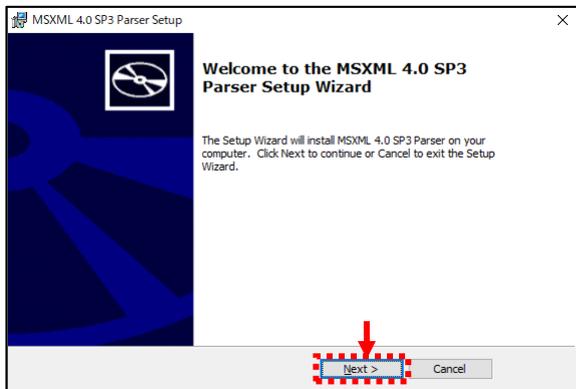


- 最新バージョンが表示されていない場合、4-4. プログラムの終了を行って PACTware を終了させて 3-3. Matsushima DTM のインストールを実施して最新バージョンをインストールして下さい。
- 旧バージョンが表示されている場合、4-4. プログラムの終了を行って PACTware を終了させて 7-4. Matsushima DTM のアンインストールを実施して旧バージョンをアンインストールしてください。  
再確認の際は、4-1. PACTware の起動から行って下さい。

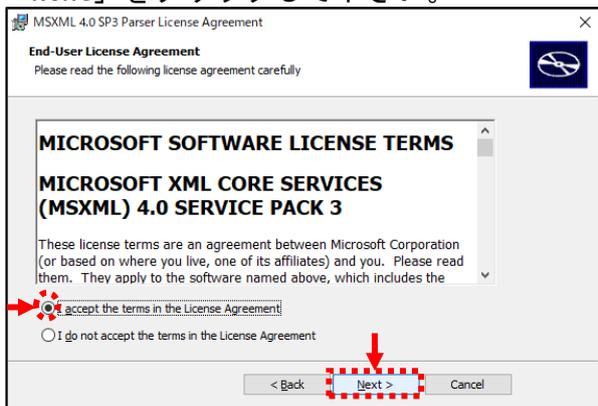
### (3) Microsoft MSXML のインストール

4-2. デバイスカタログの確認で「MWLM/PR26/HART」が表示されていない場合に行います。  
MSXML4.0 SP3 Parser (msxml.msi) をインストールして下さい。

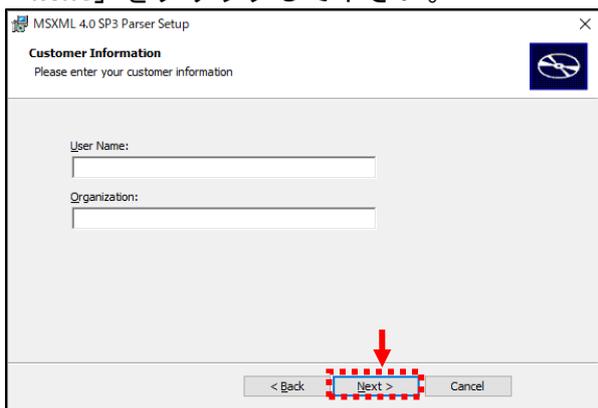
「msxml.msi」をダブルクリックして下さい。「MSXML」のセットアップ画面が表示されます。



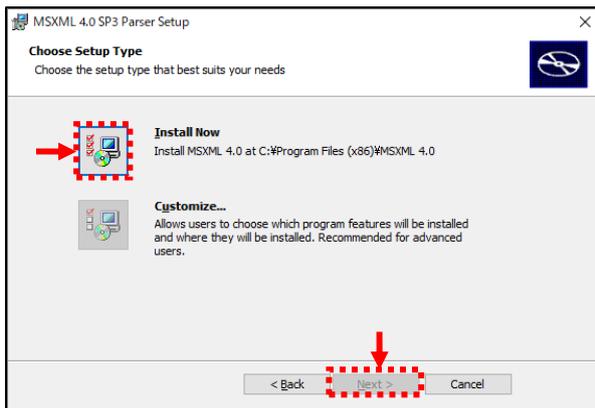
使用承諾契約が表示されます。使用承諾契約の内容をご確認の上、「I accept the terms in the License Agreement」（同意する）にチェックを入れ「Next」をクリックして下さい。



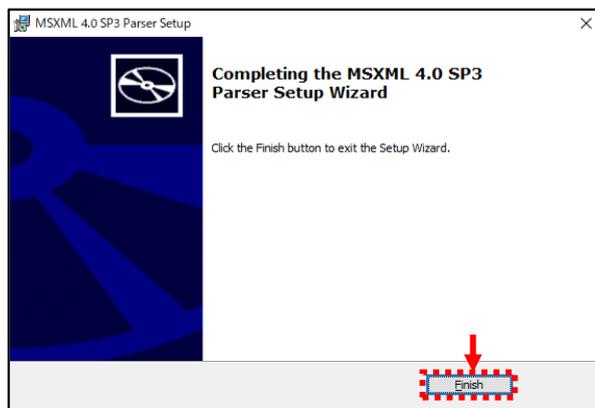
お客様情報を入力画面が表示されます。お客様の「User Name」と「Organization」を入力し「Next」をクリックして下さい。



セットアップ選択画面が表示されます。  
「Install Now」を選択し、「Next」をクリックして下さい。  
クリックすると自動でインストールが始まります。



「MSXML」のインストール終了後、終了画面が表示されます。  
「Finish」をクリックし、「MSXML」のインストールを完了させて下さい。



### 4-3. Project の作成

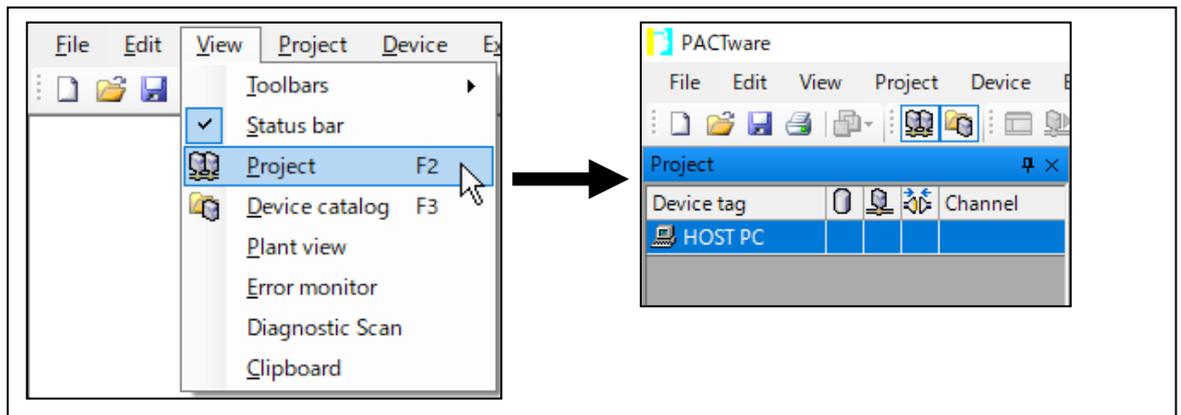
#### (1) 通信 DTM の設定

ツールバー「View」の「Project F2」をクリックして下さい。

画面左側に Project 画面が表示されます。

( \* 既に Project 画面が表示されている状態で「Project F2」をクリックすると Project 画面が消えます。

その場合はもう一度ツールバー「View」の「Project F2」をクリックして、Project 画面を表示して下さい。)

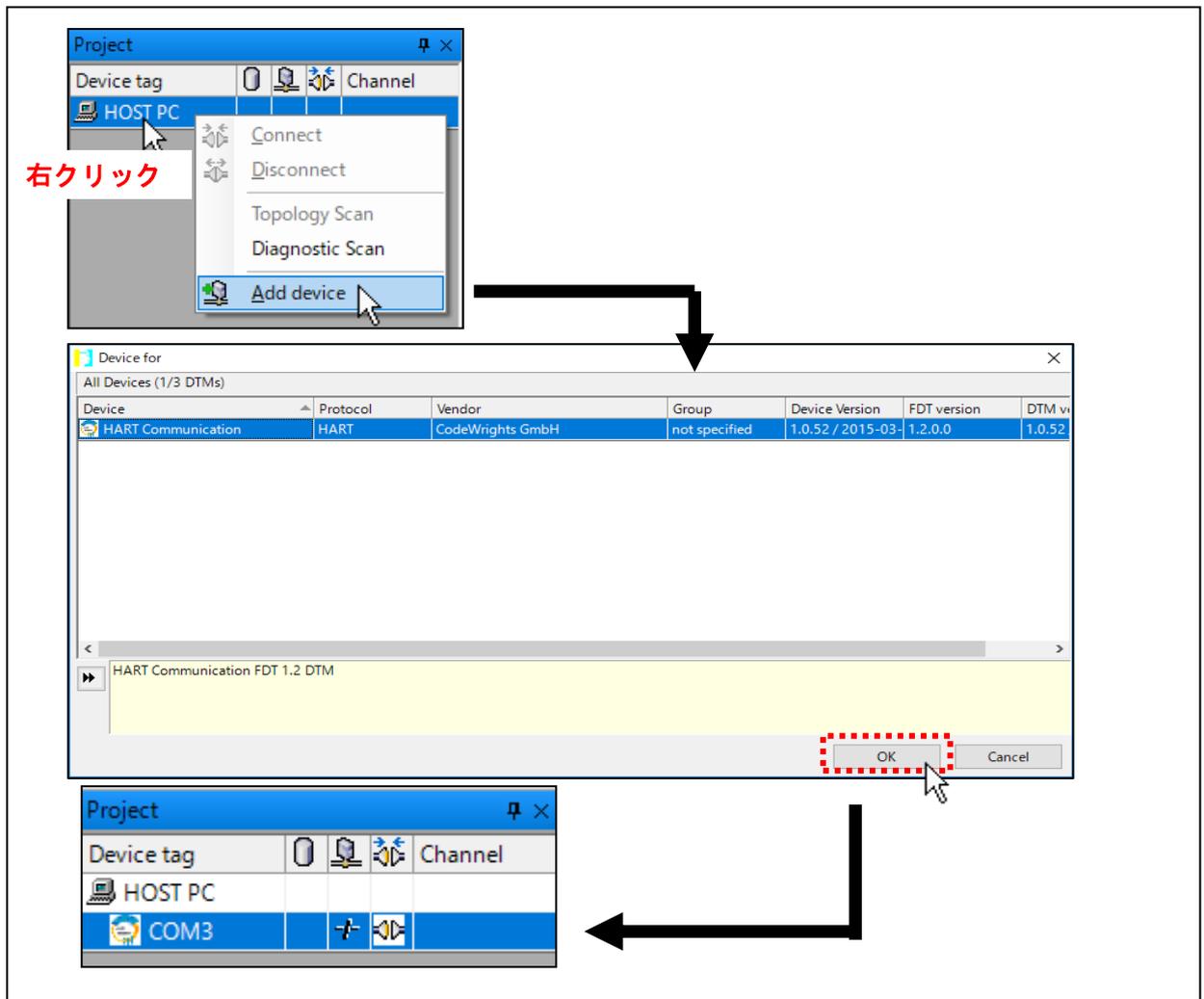


Project 画面内の『HOST PC』にカーソルを合わせ右クリックし

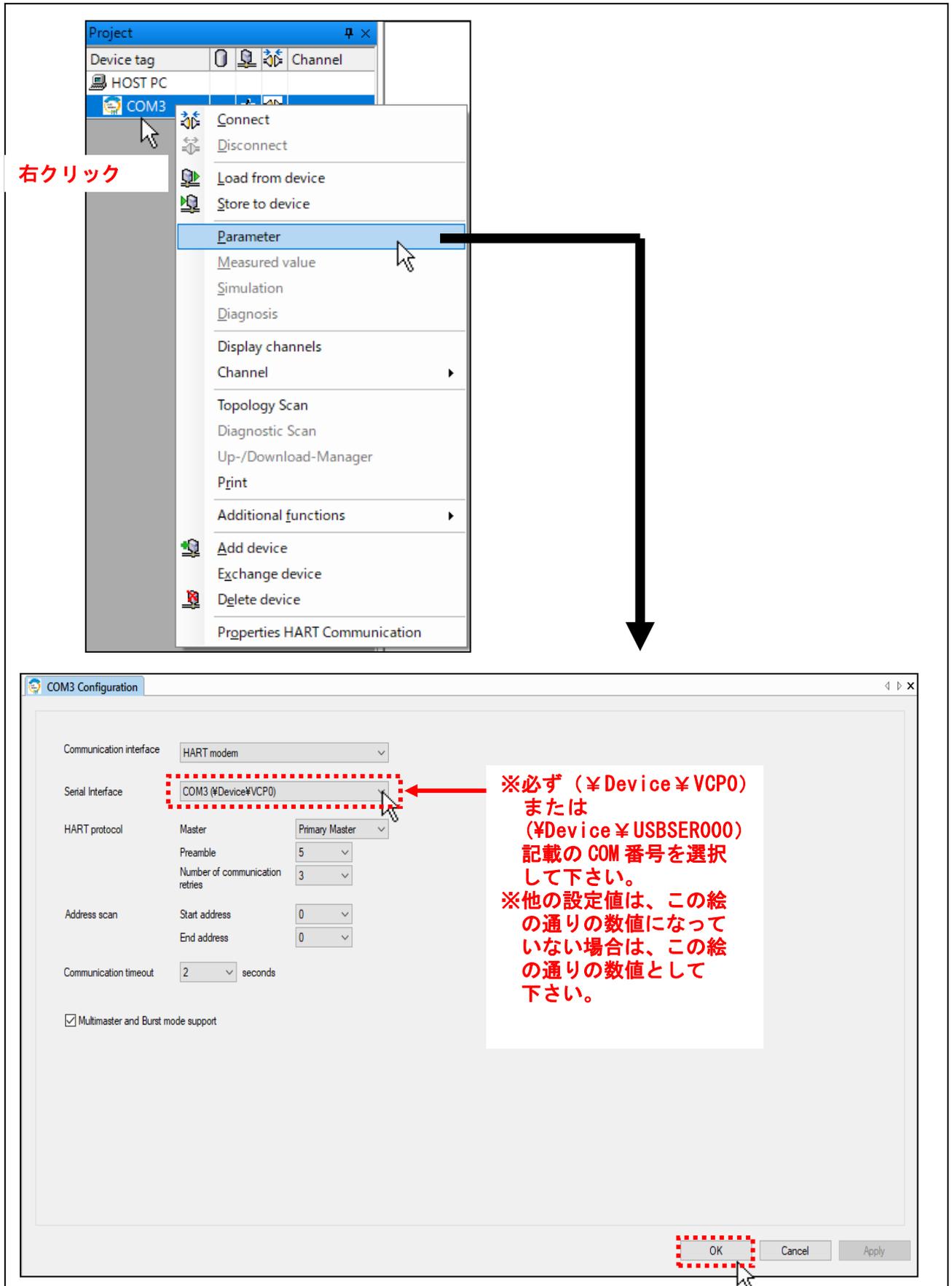
『Add device』の項目をクリックして下さい。

Device for の画面が表示されますので、「HART Communication」を選択し  ボタンをクリックして下さい。

Project 画面内の『HOST PC』の下に『COM\*』が表示されます。

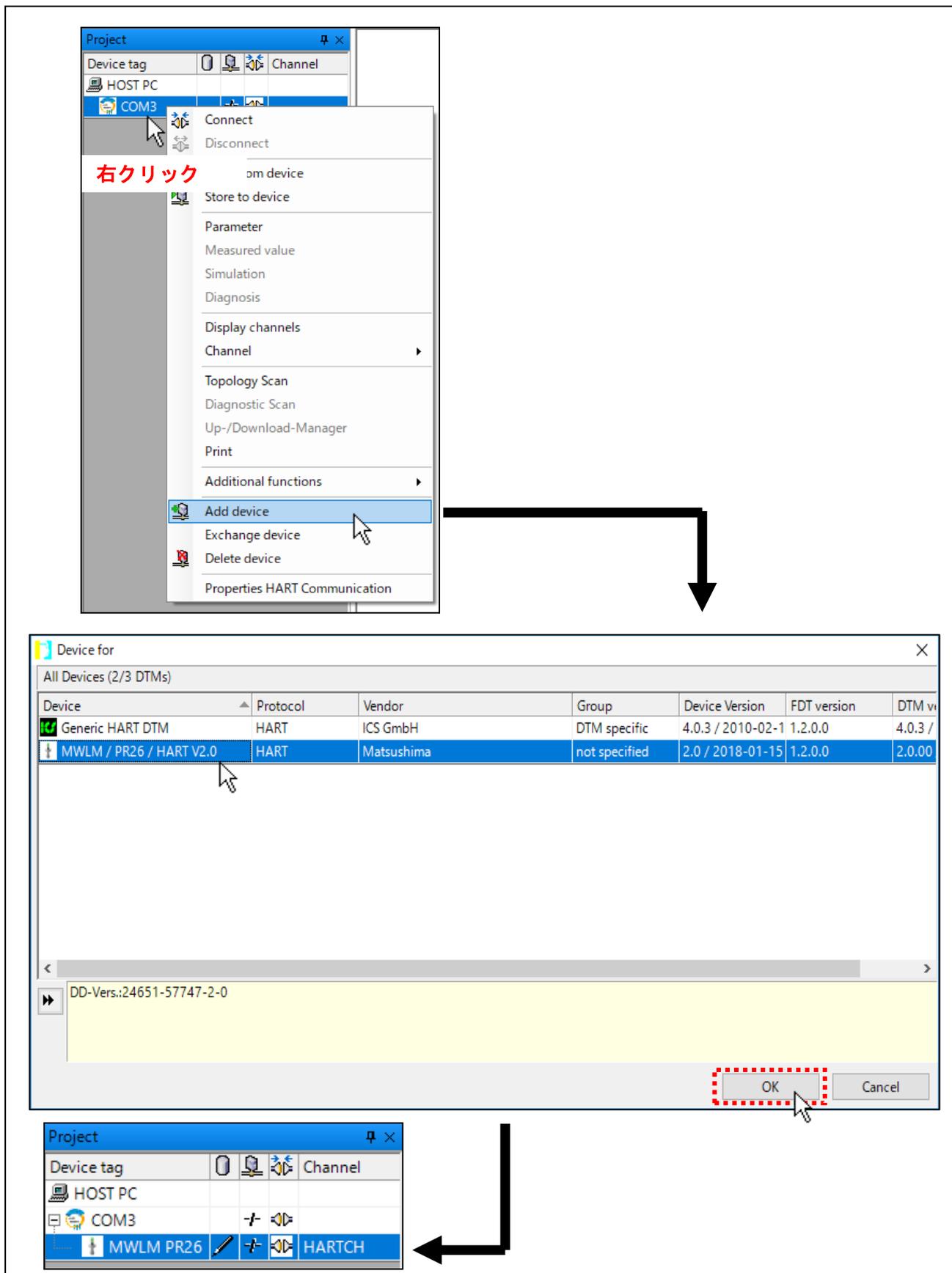


Project 画面内に表示された『COM\*』にカーソルを合わせ、右クリックを行い「Parameter」を選択、クリックして下さい。  
COM Parameter が画面右側に表示されますので、Serial Interface の項目に ( ¥Device ¥VCP0 ) (MHM-01 の場合) または ( ¥Device ¥USBSE000 ) (MHM-02 の場合) が記載されている COM を選択し、OK ボタンをクリックして下さい。

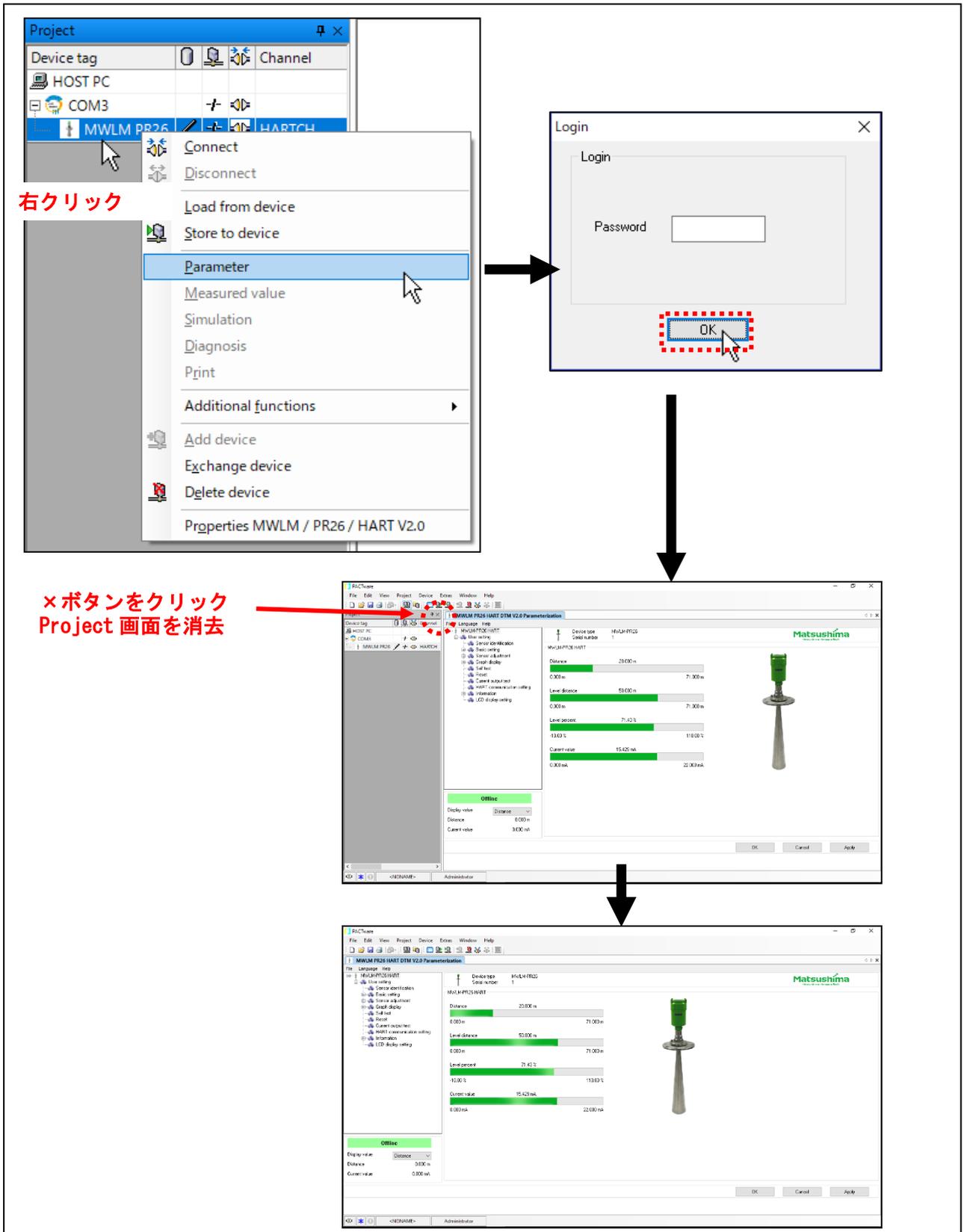


## (2) Device DTM の設定

Project 画面内に表示された『COM\*』が違う番号の『COM』に変更されています。  
変更された『COM』にカーソルを合わせ、右クリックを行い、Add device の項目で  
クリックして下さい。  
再び Device for の画面が表示されますので、「MWLM/PR26/HART」を選択し **OK**  
ボタンをクリックして下さい。  
Project 画面内に「MWLM/PR26/HART」が表示されます。



Project 画面内に表示された『MWLM/PR26/HART』にカーソルを合わせ、右クリックを行い Parameter の項目でクリックして下さい。  
 パスワード画面 (Login 画面) が表示されますので、パスワード (Password) には何も入力せず、**OK** ボタンをクリックして下さい。  
 英語表記の「Matsushima DTM」が表示されますので、Project 画面を消す為に **X** ボタンをクリックして下さい。  
 (\* Project 画面を閉じないと、(4) Project の保存 (36 頁参照) でプロジェクトファイルを保存する際に、Project 画面が表示される状態で保存されます。  
 画面サイズが小さいパソコンを使用すると、「Matsushima DTM」表示エリアが狭くなり見づらくなる場合があります。)

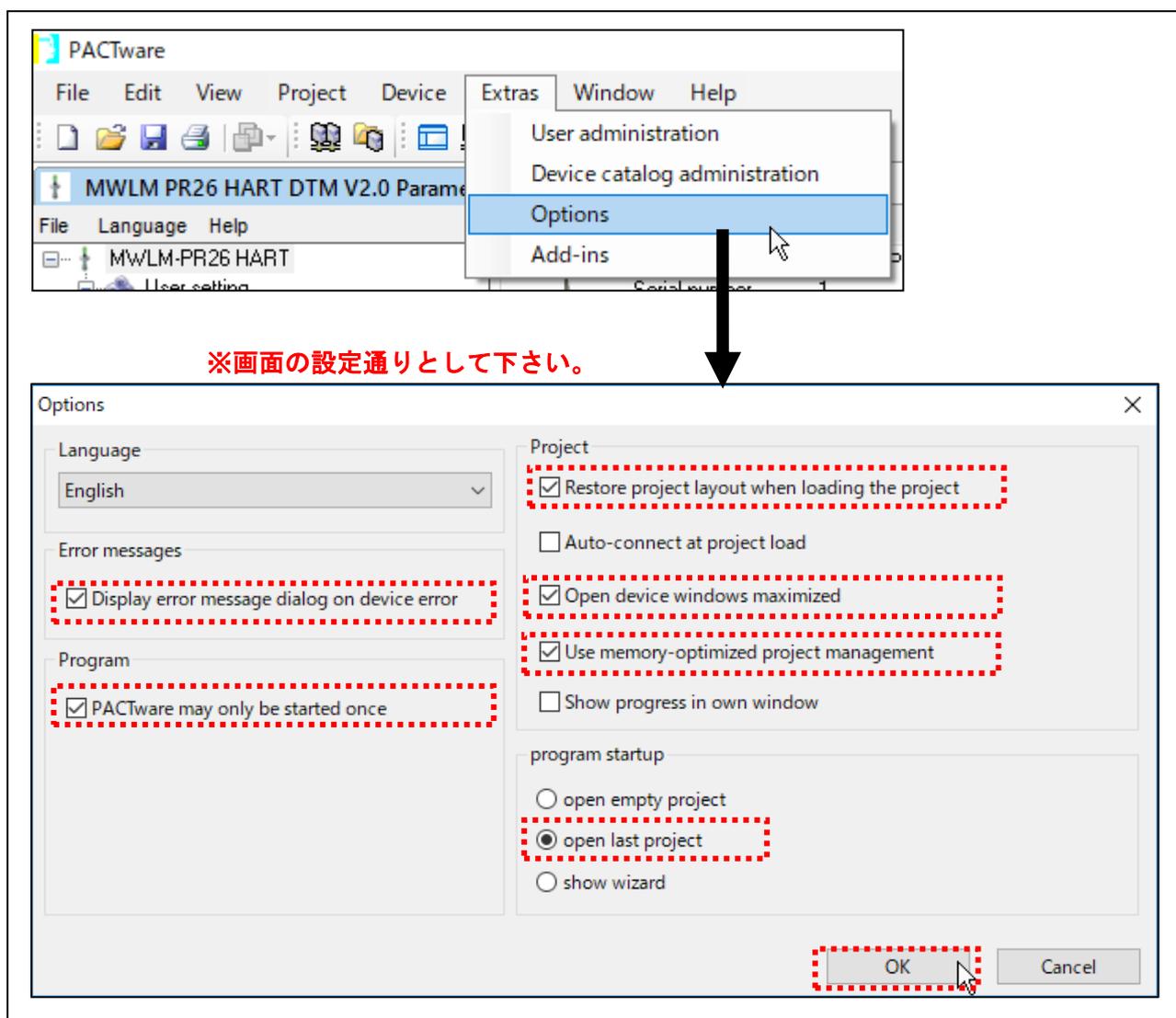


### (3) Options の設定

ツールバー「Extras」の「Options」をクリックして下さい。

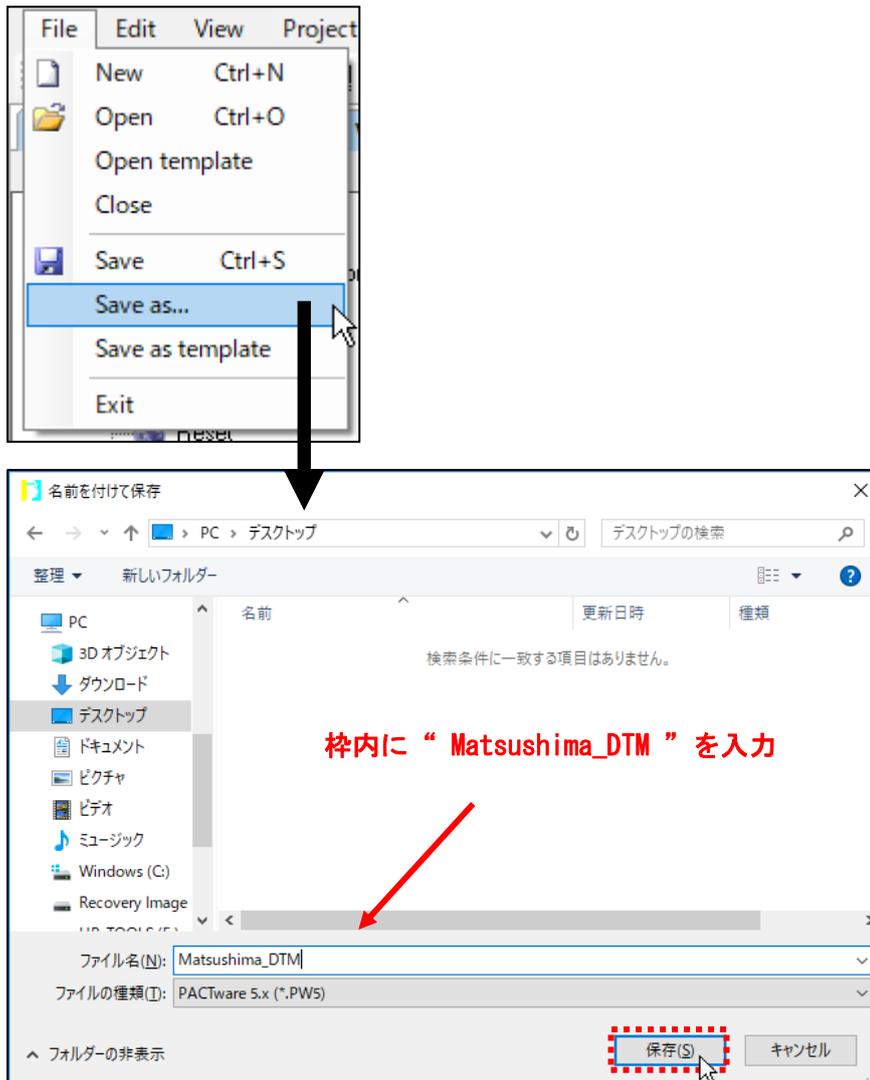
「Options」画面が表示されますので、下の「Options」画面の通りの設定となっていることを確認して下さい。

下の「Option」画面の通りの設定となっていない場合は絵の通りに設定し、**OK** ボタンをクリックして下さい。



#### (4) Project の保存

今までの自動起動設定を名前を付けて保存します。  
ツールバーの File 内「Save as..」をクリックして下さい。  
クリック後、保存先を『デスクトップ』、保存のファイル名を『Matsushima\_DTM』  
として、**保存** ボタンをクリックして下さい。

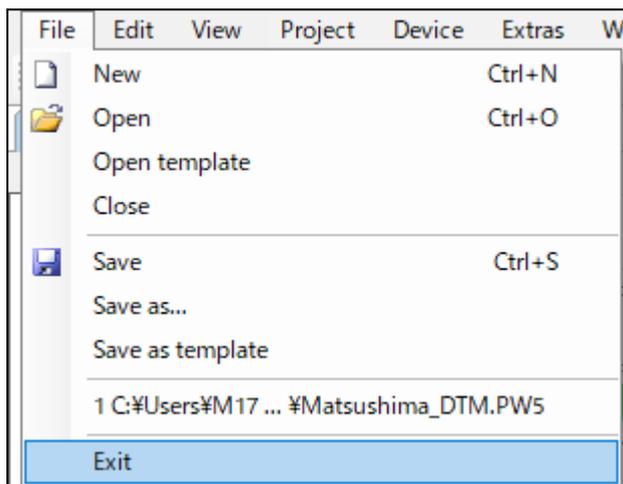


デスクトップに下図の『Matsushima\_DTM』のアイコンが表示されます。

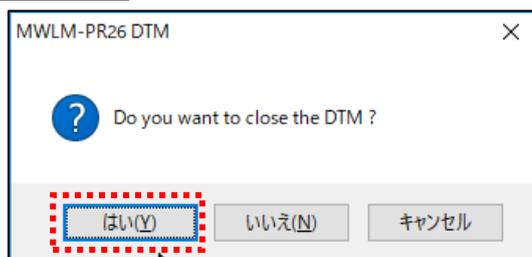


#### 4-4. プログラムの終了

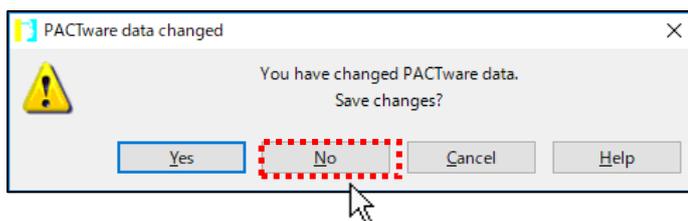
保存した設定値を有効にするために、プログラムを一度終了する必要があります。  
ツールバーの File 内「Exit」を選択しクリックして下さい。



「DTMを終了しますか？」の確認項目が表示されることがあります。  
はい(Y) ボタンをクリックして下さい。



「PACTware のデータを変更しました。変更を保存しますか？」  
の確認項目が表示されることがあります。No ボタンをクリックして下さい。



これで、プログラムは終了します。

## 5. 言語設定の変更

Matsushima DTM を起動します。

デスクトップのアイコン (Matsushima\_DTM.PW5) をダブルクリックして下さい。  
パスワード入力画面が表示されますので、「User」 又は未入力、 ボタンをクリックして下さい。

Matsushima DTM が自動で表示されます。

DTM 画面上の “Language” にカーソルを合わせクリックし、希望する言語を選択  
クリックして下さい。※Windows11 は英語のみ対応しています。

確認項目が表示されますので、 ボタンをクリックして下さい。

ツールバーの File 内「Save」を選択しクリックして下さい。

クリック後、保存した設定値を有効にするために、プログラムを一度終了する必要があります。

プログラムの終了方法は、4-4. プログラムの終了と同じ方法です。

プログラムを終了させ、言語設定を完了させて下さい。

図は日本語に設定した例を表示します。

プログラムの終了作業を実施下さい。(4-4. を参照下さい。)

日本語、韓国語、中国語を使用する場合は文字化けすることがあります。  
文字を正しく表示するために下記の設定をして下さい。

「スタート」>「Windows システムツール」>「コントロールパネル」>

「時計、言語、および地域」>「地域」で地域の設定画面を表示します。

地域の設定画面内の「管理」のタブをクリックし「Unicode 対応ではないプログラムの言語」の項目で対応言語を選択して下さい。

図は日本語に設定した例を表示します。

「システムロケールの変更(C)」ボタンをクリックして下さい。  
地域設定の画面が表示されます。

対応言語を選択して下さい。

「OK」ボタンをクリックして下さい。  
PCの再起動確認画面が表示されます。

「今すぐ再起動」ボタンをクリックして下さい。  
PCが再起動します。

## 6. 起動ファイル名 (Matsushima DTM.PW5) の変更

起動ファイル名 (デスクトップのアイコン表示) を変更する場合の設定方法です。  
起動ファイル名を間違えた場合や起動ファイル名を変えたい場合に使用します。  
Matsushima DTM を起動します。

デスクトップのアイコン (Matsushima\_DTM.PW5) をダブルクリックして下さい。  
パスワード入力画面が表示されますので、「User」 又は未入力で、**OK** ボタンをクリックして下さい。

Matsushima DTM が自動で表示されます。

PACTware のツールバーFile 内「Save as..」を選択しクリックして下さい。  
保存先を『デスクトップ』、保存ファイル名に希望するファイル名を入力して  
**保存** ボタンをクリックして下さい。

設定を有効にするために、プログラムを一度終了する必要があります。

プログラムの終了方法は、4-4. プログラムの終了と同じ方法です。

プログラムを終了させ、起動ファイル名の変更を完了させて下さい。

起動ファイル名の変更完了後、デスクトップに変更されたファイル名のアイコンが表示されます。

既存のアイコンもデスクトップにありますが、調整上問題はありません。

不要なアイコンを削除するには、アイコン上にカーソルを合わせ、右クリックすると「削除」項目がありますので、「削除」をクリックして下さい。

不要なアイコンが削除されます。

枠内に “ Matsushima\_DTM ” 以外の希望するファイル名を入力

プログラムの終了作業を実施下さい。(4-4. を参照下さい。)

## 7. アンインストール

アンインストールは、当社製 Matsushima DTM および関連ソフトウェアを削除したい場合に行います。

\* 「PACTware」を他社製のDTMと共用して使用している場合は、

7-1. から 7-3. のアンインストールは行わないで下さい。

HART モデム「MHM-01」または「MHM-02」を他社製のDTMと共用して使用している場合は、7-5. のアンインストールは行わないで下さい。

7-4. Matsushima DTM のアンインストールのみを行って下さい。

アンインストールを始める前に、開かれているすべてのプログラムを終了して下さい。

ソフトウェアアンインストールの際は、管理者 (Administrator) の権限が必要です。

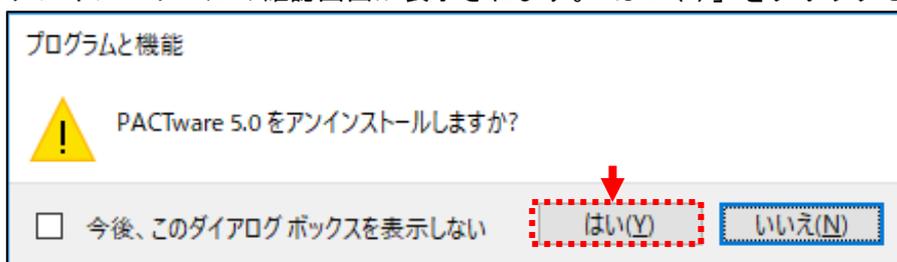
コンピューターは管理者 (Administrator) の権限でサインインして下さい。

### 7-1. PACTware のアンインストール

「スタート」>「Windows システムツール」>「コントロールパネル」>「プログラムのアンインストール」で「PACTware」を選択し、「アンインストール」をクリックして下さい。



アンインストールの確認画面が表示されます。「はい(Y)」をクリックして下さい。



Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。

(「この不明な発行元からアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」)

「はい」をクリックして下さい。

PACTware のアンインストールが開始されます。

## 7-2. Generic HART-DTM のアンインストール

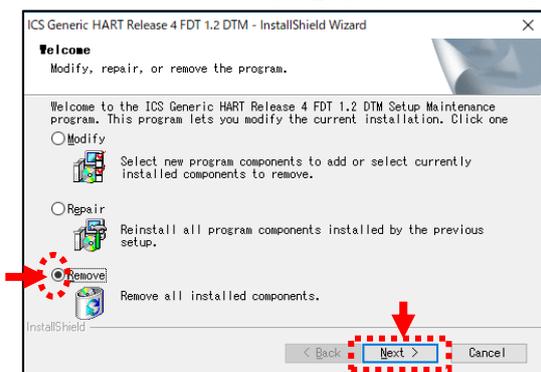
「スタート」 > 「Windows システムツール」 > 「コントロールパネル」 > 「プログラムのアンインストール」 で「ICS Generic HART Release4 FDT 1.2 DTM」を選択し、「アンインストールと変更」をクリックして下さい。



Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。  
(「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」  
「はい」をクリックして下さい。

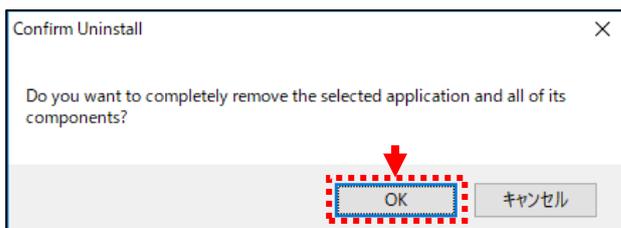
ICS Generic HART 設定画面が表示されます。

ICS Generic HART 設定画面で「Remove」にチェックを入れて「Next>」をクリックして下さい。



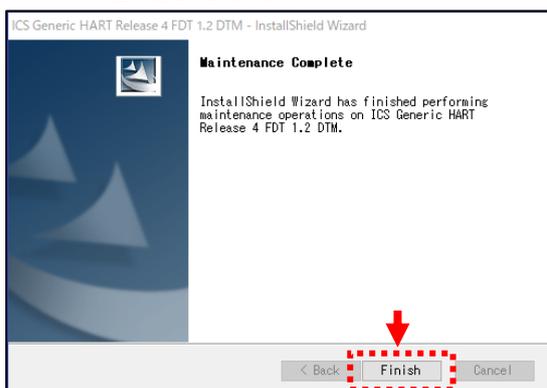
確認画面が表示されます。確認画面で「OK」をクリックして下さい。

Generic HART-DTM のアンインストールが始まります。



Generic HART-DTM のアンインストール終了後、終了画面が表示されます。

「Finish」をクリックして Generic HART-DTM のアンインストールを完了して下さい。



### 7-3. HART Communication DTM のアンインストール

「スタート」 > 「Windows システムツール」 > 「コントロールパネル」 > 「プログラムのアンインストール」で「HART Communication FDT 1.2 DTM」を選択し、「アンインストール」をクリックして下さい。



確認画面が表示されます。確認画面で「はい(Y)」をクリックして下さい。



Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。  
（「この不明な発行元からアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」）  
「はい」をクリックして下さい。

HART Communication DTM のアンインストールが開始されます。

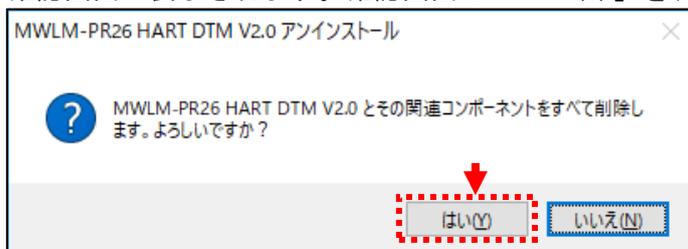
## 7-4. Matsushima DTM のアンインストール

「スタート」 > 「Windows システムツール」 > 「コントロールパネル」 > 「プログラムのアンインストール」 で「MWLM-PR26 HART DTM」 を選択し、「アンインストール」 をクリックして下さい。

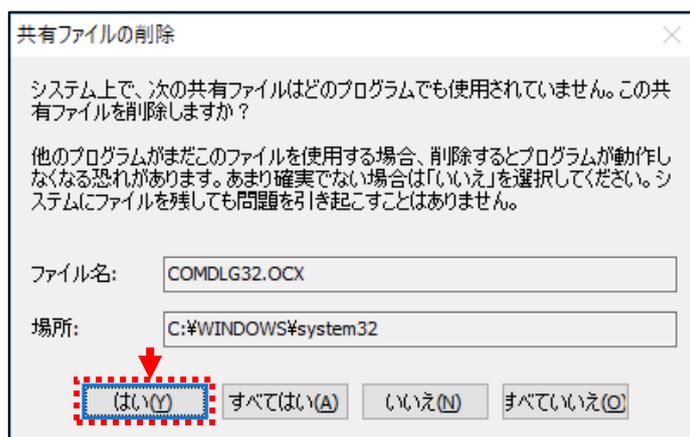


Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。  
（「このアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」）  
「はい」 をクリックして下さい。

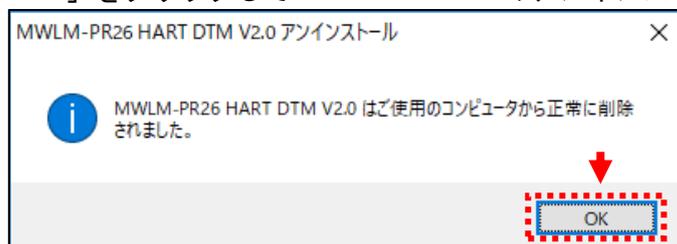
確認画面が表示されます。確認画面で「はい(Y)」 をクリックして下さい。



Matsushima DTM のアンインストールが始まります。  
アンインストール中、下記画面が表示されることがあります。  
「はい(Y)」 をクリックして下さい。



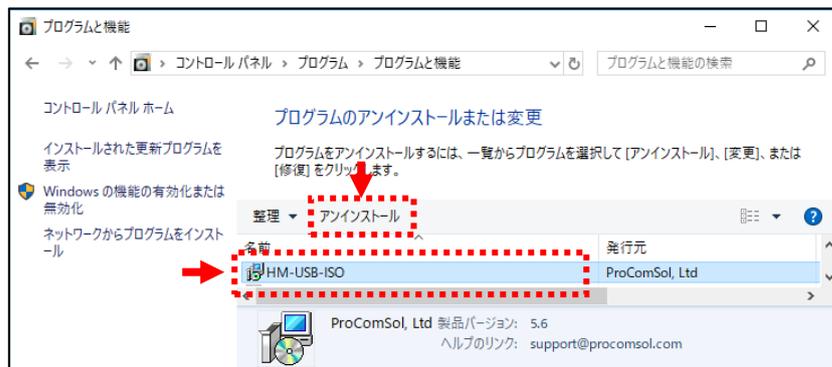
Matsushima DTM のアンインストール終了後、終了画面が表示されます。  
「OK」 をクリックして Matsushima DTM のアンインストールを完了して下さい。



## 7-5. HART モデムドライバーのアンインストール

### 7-5-1. MHM-01 の場合

「スタート」 > 「Windows システムツール」 > 「コントロールパネル」 > 「プログラムのアンインストール」で「HM-USB-ISO」を選択し、「アンインストール」をクリックして下さい。



確認画面が表示されます。確認画面で「はい(Y)」をクリックして下さい。



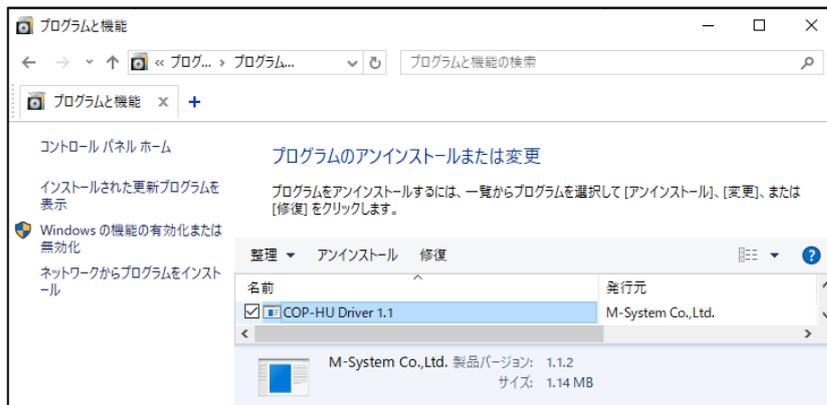
Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。

(「この不明な発行元からアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」)  
「はい」をクリックして下さい。

HART モデムドライバーのアンインストールが開始されます。

## 7-5-2. MHM-02 の場合

「スタート」 > 「Windows システムツール」 > 「コントロールパネル」 > 「プログラムのアンインストール」で「COP-HU Driver \*.\*」を選択し、「アンインストール」をクリックして下さい。



確認画面が表示されます。確認画面で「はい(Y)」をクリックして下さい。



Windows8, 10, 11 の場合メッセージ画面が表示されます。

(「この不明な発行元からアプリがデバイスに変更を加えることを許可しますか」)  
「はい」をクリックして下さい。

HART モデムドライバーのアンインストールが開始されます。